大正八年八月三十一日　THE KEIJO NIPPO　（月曜日）　第四千二百八十二號（一）

京城日報

（年中無休刊）
新聞定價 每號一部金四錢▲壹ヶ月郵稅共[illegible]
廣告料金 五號十四字詰一行一圓五拾錢 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 長六千九番 長六千九番 振替京城三〇〇番

八月三十日夕刊（朝刊併せて八頁）

ウイルソン氏の運動　元老院委員に書面を送る

ウイルソン氏は元老院民主黨領袖スワンソン氏事務所を訪ひ夫より講和條約中山東に關する條項の修正に就き元老院外交委員に對し書面を送りたり其結果元老院議員をしてウイルソン氏が自ら右山東條項修正反對の運動を指揮しつゝありと斷言せしむるに至れり蓋しスワンソン氏は右運動を指揮することを拒絕したればなり而して該問題は次いで委員會に於て討議されたるが共和民主兩黨議員は共に山東條項に對する反感近來增加したりと云ふに於て一致せり是れウイルソン氏が山東條項の通過すると否とは講和條約の運命を決すべき試金石と思考すと信じ居れるに依る（華盛頓電報）

日米秘密協約說

某佛國新聞紙の所報に依れば米國大統領ウイルソン氏は今より二年前日本と協約を締結し支那に於て財政經濟上秘密に成協力を約したるも而して右協約に於て此の締盟國は支那の領土保全を保障するものなりと（巴里電報）

山東問題と元老院

米國上院外交委員會に於て民主黨領袖とツチコック氏は元老院本會議は支那に直接山東を與ふる外交委員會の修正案を否決すべきは疑らかなりと陳述せり（華盛頓電報）

英佛航空條約締結

決定的國際航空條約の調印を見る迄英佛間の定期航空を擁護すべき航空條約締結せられたりと（英斯泰東京電報）

支那の主張貫徹　各國講和委員より是認さる

對墺條約に對する支那政府の抗議は各國講和委員の是認する所となり墺國政府も該修正案の撤回を承諾したれば不日調印の運びに至るべしと陸徵祥氏より報告到着せるより北京政府は初めて愁眉を開けり（北京電報）

支那滿蒙除外反對

借款團加入に關し日本政府は滿蒙除外を條件とする事を主張せるに對し支那政府は反對意見を抱き目下財政當局及び外交委員會にて研究中なり（北京電報）

總統吳代表慰留

吳鼎昌氏代表辭職問題に就き總統府側の說に據れば尙ほ辭意打消しの望みあるを以て徐總統より再び直接に慰留すべしと（北京電報）

安福已未接近說

近來安福已未兩派が漸次接近し來り九月を以て聯盟せらるべき議院臨時會も之が結果なりとさへ傳へられつゝあり此接近說に對し已未俱樂部は各所に通告を發して之を打消せり曰く『近日各新聞紙に已未俱樂部が安福派と握手せりとの報道を掲載せるも決して事實に非ず本俱樂部の主張は終始變ぜず特に聲明し以て誤解を免る』と（北京電報）

南北和議樂觀說

最近王揖唐氏の旨を受け南方と接洽の爲め上海に赴ける克希克圖氏より發せる電報安福俱樂部に到着せるが右に據れば和議は頗る樂觀すべしと謂ひ且つ唐紹儀氏は實質に王揖唐氏に反對するものに非ず要するに双方提出の條件が善く接近するに於ては何人が北方總代表たるも敢て拒む所に非ずとの考へを有せりと云々と（北京電報）

支那駐日公使任命

劉鏡人氏を駐日公使となる旨二十八日大總統令を以て發布されたり（北京電報）

防穀令除外交涉

赤塚總領事は豫て張督軍に對し滿洲の防穀令除外を交涉中なりしが張督軍は其主旨を大に賛成し目下張景惠を中央に派遣し交涉する所あり中央に於ては該交涉の成立を許可せば他地方より滿洲經由にて穀物の輸出頻發せんを恐れて未だ許否を決定せざる模樣なるが何れ何等かの方法を講じ防穀令滿洲除外問題は無事解決を見るなるべく左すれば滿洲の土地利用並に農業狀態は一新し來るなるべし（奉天特電）

牧野男一行著期

牧野男一行は二十九日新嘉坡を發したる旨入電あり右に據れば九月十二日神戶著の豫定なりと（東京特電）

齋藤顧問辭任說

吉林督軍顧問齋藤大佐は都合に依り近く辭任すべし（奉天特電）

田中舍身氏

田中舍身氏は廿九日朝奉天を發し哈爾賓に向へるが往復約二週間の豫定也（奉天特電）

英國財界危機　金融中心動搖

英貨の激落に依り我對英爲替取組の困難に陷りたること旣記の如くなるが其後モルガンの渡英等種々の事情に依り英米爲替相場は稍回復に向ひ二十七日銀行著紐育發電報に於て英米爲替相場は四弗十三仙より四弗二十仙に跳返せる事別項の如し今後

英國政府 の方針に對し同國產業界の態度決定するに至れば英米爲替相場は自から一定の標準を見出すに至るべきなれども講和成立當時一時回復の兆候を呈したる英貨の其後間もなく激落を招き更に最近又其暴落を見るに至れるは英國財界の容易ならざるを語るものなり即ち是迄倫敦を國際決濟の中心市場となし同地に正貨を蓄積せる各國中央銀行及各爲替銀行は今や英貨の暴落により莫大の損失を被らるに至らんとし是等の銀行は戰前の如く倫敦を世界金融の

中心市場 となし其地位を重視するを得ず寧ろ他に適當の場所に選定せんとするに至るは當然の事實なり之に付いては戰時に於て大に國力を充實し來れる合衆國が英國に代りて世界金融上最も重きをなす機運を益々成熟し我が爲替銀行の如きも漸次紐育を中心とする對外取引を增大しつゝあり斯の如くにして今後紐育の地位を向上するに至れば倫敦は遂に世界金融中心市場たるの地位を失墜するに至ることなしと云ふべからざるが由來英國の世界金融中心市場たる地位を得たるは

長き沿革 と經濟上特殊の事情に基づけるものなるを以て同國は戰時中非常の困難を忍びて兌換制度を持續し飽迄國際上の信用を保持せんことを欲したり然るに世界大戰の講和締結後に於いて同國は遂に金の輸出禁止を實行せるに止らず進んで爲替資金調達の爲めにする米國シンジケート團との特約を解除し英貨の崩落を自然に放任するに至りたるは同國財界の他に重大難關の橫たはるが爲めにして就中英國に於る勞働階級の要求は殆ど極端の主張を固守し同國產業界の同復を不能ならしめんとする形勢あり即ち政府にして

依然干涉 の政策を踏襲するに至らんか勞働者の新なる要求は更に底止する所を知らざらんとす是こに於てかジョージ氏は遂に國民の自覺を促す意味に於て放任主義を宣明し從來の經濟政策を一變するに至れるものなり然れどもジョージ氏の政策に依り果して英國財界の危機を脫出し得るに足るや否や今後の成行に徵せざるべからざるなり要するに英國產業界は今や實に多事多難の秋に遭遇し今後の推移如何に付きては各國の注目を要すべきことなる可しと

新官制に就いて（下）　中樞院副議長　李完用伯談

先年余の處に出入をするもので葬墓地に付き頼みに來たものがあつたから余は其の時取扱のものに話して遣つたら幸に六かしい條件なしに許可され其後彼れの喜びと云つたら非常なもので今に忘れず余が許可を與へて遣つた如く感謝してゐる余は彼の喜びと感謝の念も下級官吏の取扱方に依つては

當局に轉換 さする事が出來るのである、集葬墓地の制度は共同墓地規則を實施された以後に於て當局で其手加減をなるべく遣つて頂き度いものだ然るに之れが頭のない下級官吏の爲めに徹底しないらしい。兎角自分の所謂先づ山として山を所有して居るものにまで共同墓地を强ひる事は少し考へものである、素より何時までも亂雜な墓地を放任することは出來ないが如斯死生を顧みないものが未だ實際ある以上は今俄に內地同樣に實施せんとすることは

朝鮮の俚言 にある如く蟻の穴に牛を追込む樣な感がある、道路修築工事に就て寄附を强ふることか、又農家多忙の際に賦役を命ずるから困ると云ふ事も今度調べて見たら大分各地に於て不平を唱へて居るらしい是れも何處へ往くにも坦々たる道路が出來て交通が便利となつたから之れに依つて地方が繁榮するので人民は間接に於て得る所が大したものであるが今後と雖も折角彼是立派に出來たものであるから年々手を入れ修理みすることも必要であらう、然し地方に依り郡廳が監督上役所の

事務の都合 計りを考へ可成賦役の出る農家の都合を本位として多忙でない時を選んで利用した方が善い。其れが處に依つては尤も農事繁多な時に賦役を命ずるから堪らないと云ふ不平が在る、又土地收用令に就いても大分怨聲が在る樣だ。何年間も汗水を流して小百姓が僅かの貯金に依つて何斗落かの田、畓を買ひ入れたものが生憎新道路に編入されると土地收用令に依つて泣き寢入りの儘に應じなければならん樣になり又其田畓が自分の近隣に在るから場合に依つては昨年まで金枝玉葉の如く大事にした

田畓を安く 買つた上に又自ら土を蹴んで埋ることが在るので彼は眞に血の淚を流しながら其の事情を所所近隣に訴へふするものが一里、一面のもの等がそれを聞いて同情の念を睹ぐと共に總督府は何と云ふ殘忍酷薄な事が在らうと其一名の爲めに何百、何千の者が怨聲を放つと云ふ事を聞いたのは勿論稀に在る例で在るけれども斯くの如き事情で大事な道路選定を變更する事は出來ないが直接其衝に當る官吏が其事情を知つたら上司に報告して何とか特別な方法を取ると云ふ事にせねばならんと思ふ。

次ぎは免稅 のことで在る、今年は非常な旱魃で京畿道の西北は其旱害が甚だしいから時は免稅を許した事があつた、又今の總督府に於ても百町步以上不作の場合は免稅を許す事となつて居るさうだ、然し其百町步と云ふ制限は纏つた一地面の面積が百町步で在り其全部が不作の場合にのみ許すとの事になるから、若し百町步以內の地面は假令十町步でも不作でなかつたら許さないと云ふ事になるとか言つて黃海道邊では十町步の落殘餘の九十町步は免稅が出來ないとか云つて

農家の仲間 でも色々採めを起して居るとか云ふが農家も此際だから何とか手加減をされたら宜からうと思うて居る或は新聞には吾々朝鮮人は新總督及び新官制等に就て早くも彼れ此れ批難して居ると書いてあつたが是れは全然僞する事が出來ない、恐らく物好きな人が自分で想像して居ることを朝鮮人の說として傳へたに過ぎぬであらう、兎に角新官制は稍人心の倦厭を來した

今日の場合 に於て因循切つた改革を施し人心を新にすると云ふことは政治の妙諦であるから余は此點に於て歡迎し、今より其運用に就て刮目して功果を見んと欲するのである

朝鮮貿易　八月上半に於る

八月中上半朝鮮貿易額は輸移出品九百八十九萬九千六十八圓輸移入品價一千六十六萬四千七百二十二圓合計二千五十六萬三千七百九十圓にして一月以降の累計額は輸移出品價一億二千九百七十三萬七百九十三圓輸移入品價八千四百十九萬六千七百六十六圓合計一億六千十四萬八千九百九十一圓に及び此の輸移入超過額は八月上半に於て七十六萬五千六百五十四圓一月以降累計に於て二千七百一萬七千二百三十八圓なり而して金銀の出入は極めて微々たるものにして輸移入五百圓輸移出百圓に過ぎず一月以降累計は輸移出二百五十九萬八千七百八十七圓輸移入六十一萬六千九百七十四圓を示せり

殖銀の貯蓄預金開始（上）

●●●櫻井殖產銀行理事談●●●

這次大戰の後を受け我が半島に於ても諸般の經濟に擴張更新を要すべきものあるに際し鮮人に對しても少しく貯蓄的思想を鼓吹し勤儉

質實の美風 を涵養すると共に地方生產資金充實の途を講ずることは殊に我が朝鮮の現況に處して最も緊急の事と信ず、而して之が施設に最も必要なるは貯蓄機關の設置完成にありと云はねばならぬ、官遞當局に在りても旣に此の點に留意し郵便局は勿論、更に地方金融組合等の機關を通じ少からざる努力を傾倒せらるゝも尙未だ充實完備を見ずとは認むることは出來ぬ即ち汎く各地に貯蓄の便を開きて此の缺陷を補ひ以て鮮人の貯蓄を增進すると共に一面之が地方融資の途を啓き地方生產事業の發展興進の實を擧ぐるは極めて切要である、今回殖產銀行に於て新に貯蓄業務を開始する所以は要するに此處に存するのであつて旣に此の趣旨に付きては頭取より鮮報紙誌せられたるに依り茲に贅するの要を見ない、殖產銀行に於ては前述の趣旨に依り嚢に

貯蓄業務を 創始するの計畫を樹て先づ簡易にして一般的なるものより初めんとし爾來着々實施の準備を進め愈々九月一日より本店は勿論五十有餘箇所の支店を通じ一齊に之が實施を見るの運となつた譯である、今左に業務方法の特色とする點に付き之が概略を述べ大方の參考に資することゝする。單に貯蓄預金と云ふも其の種類を擧ぐれば普通貯蓄預金、定期預金、積立貯金、共同貯金、年金貯金等多種多樣であるが今回殖產銀行に於て開始する貯蓄預金は內地の貯蓄銀行條例に所謂普通貯金の一種であつて零細の資金に對し複利の方法を以てする預金の謂である、即ち金拾錢以上の金子なれば幾許にても之を預り

所定の利息 を附し之を年二期五月と十一月に元金に加へ更に利子を附するのであつて所謂利倍增殖の計算を爲すものである、開始された貯蓄預金は個人的に預入するものと、團體的に預入するものとの二樣の途が開かれて居る而して兩者の間には通帳、利率、預入の方法等に多少の相違あるが故に先づ個人の貯金に付き其の大體を述べ次に團體の特別取扱に及ばうと思ふ。先づ個人貯金の特色として第一に數へ得る點は

同一の通帳 にて預入れ自由に預金引出も出來ると云ふ點にある、小口當座預金では最初に預け入れた店より外の店にて預入又は引出を爲す事は共に不能であるが當行の貯蓄預金は五十餘箇所の本支店、派出所を通じ何れの店にても自由に預入れ引出しを爲すことが出來る、而して其の額は預入引出共に無制限になつて居る。通帳は大形、小形の二樣に調製し各其の表紙に意匠を加へてある、此の中小形の分は主として小兒又は婦人向に趣向を凝したもので表紙の牡丹は一名富貴草とも云はれ之れに蜜蜂を配して貯蓄と富の意を寓してある、桃色三度刷で表裏紙には當行の紋章を附し極めて優美に且つ携帶に便利な樣に出來て居る、婦人が帶の間に挾み又は鮮人の巾着又はうさ內にも保管し得る樣特に意を用ゐたものである。

學校組合決算

京城學校組合會議は三十日午後三時より同會議場に於て開會し第一號大正七年度歲入出決算外二案を附議せるが決算書は左の如し

歲入	
一金二拾六萬七百五十壹圓拾五錢	經常部決算高
一金貳拾六萬貳千九百貳拾六圓	經常部豫算高
一金拾萬五千百九拾九圓貳拾壹錢五厘	臨時部決算高
一金拾萬五千參百九拾八圓	臨時部豫算高
合計金參拾六萬五千九百五拾圓參拾六錢五厘	決算高
合計金參拾六萬八千參百貳拾四圓	豫算高
歲出	
一金貳拾壹萬貳千八百七拾六圓貳拾壹錢	經常部決算高
一金貳拾貳萬六百五拾壹圓	經常部豫算高
一金拾四萬六千五百八拾七圓四拾八錢	臨時部決算高
一金拾四萬七千六百七拾參圓	臨時部豫算高
合計金參拾五萬九千四百六拾參圓六拾九錢	決算高
合計金參拾六萬八千參百貳拾四圓	豫算高

歲入出差引殘金六千四百八十六圓六拾七錢五厘　翌年度へ繰越

長官會議開會

三十日午前十時より總督府政務總監室に長官會議を開き新總督政務總監歡迎準備に就き打ち合せを爲せり

新聞代價改正

新聞用紙其他の物價益々騰貴ニ付今般兩社協議の上來九月一日より新聞代金左記之通り改定致候間此段愛讀者各位へ謹告仕候也

大正八年八月廿七日

朝鮮新聞社
京城日報社

每號壹部　金四錢
壹ヶ月定價　金九拾錢
郵稅壹ヶ月　金拾五錢

仁川商議評議員會

仁川商業會議所評議員會は來る九月二日午後四時開會の事になりしも都合により一日繰り上げ九月一日午後一時より仁川商業會議所樓上に開會役員認可報告及會頭選擧の件を附議すべし

殖銀支店長異動

殖產銀行にては二十九日附左の通り支店長の更迭を行ひたり

浦鹽支店長　金田綱一　本店詰を命す
清州支店長　北原彥次郎　浦項支店長を命す
金堤支店長　龜井靜雄　清州支店長を命す
論山支店長　秋吉英三　金堤支店長を命す
釜山支店詰　久米豐治　論山支店長を命す

警務局長延著

新任野口警務局長は明三十一日午後七時五十分南大門驛着列車にて入城の豫定なりしも途中大阪に於て發熱したるを以て都合の爲め著任延期したりと

京畿管內會社數

大正八年一月以降八月末迄の京畿道管內に於ける設立出願中のもの及び既許可の會社數は五十六社にて其の資本金合計三千五百十六萬圓に達せるが內既に許可せられたるものは四十二社其の中大資本のものを擧ぐれば南北棉業、不二興業京城紡織の百萬圓大澤商會支店の三百萬圓、東洋物產の二百萬圓にして目下出願中のものは十四社其の中重なるものは大正製藥の二百五十萬圓京城現株市場の二百萬圓ソールホテルの百萬圓等なり

西鮮行（五）　澤田生

●定州より●

二十八日鎭南浦に於て午後を發し平北定州に下車せしは午前九時二十分虎疫猖獗の爲め驛構內は消毒の臭氣紛々附近の旅館は檢束の客を以て滿され先づ以て大不快を感じ申候郡廳に剛郡守と語り居る間に患者發生の報あり早々に引揚げ申候枯葉地に墮れて蟲聲徒らに哀傷をそゝり天色亦暗澹として時に細雨を漏らす處愚夫の悄然として往來するは悲絕の感に不堪候

人事消息

▲高野岩三郞氏（理學博士）國勢調查講習會講師として入城中なりしが三十日午前十時南大門發釜山經由東京へ歸任
▲新井留次郎氏（鐵道部工務課長）は京元線路視察の爲二十八日附を以て慶南管內に出張を命ぜらる
▲松井信助氏（新任大邱府尹）三十一日午前十時發急行にて赴任

其の日その日

▲藤波總督府通譯官▲今村同通譯官新總督一行出迎の爲め何れも釜山迄出張を命ぜられ卅一日朝出發すべし
▲杉山四五郎氏（關東都督府事務總長）卅日朝退城
▲嘉納德三郎氏（朝鮮銀行副總裁）三十日朝釜山上陸三十一日夜歸城の豫定

◇ウイルソン君か知らぬが米國上院外交委員會は、一部を除く他は、講和條約打ち毀しの目的なる事漸次露見し來れり。彼等は寧ろ、米國の孤立を歡迎せんとするもの▲如し、講和會議より脫退し、聯盟よりも脫せんとす。彼等は飽迄も、ウイルソン君の面目を踏みつぶさんとす、將にすねたる女の如し、ウイルソン君果して如何にして、列國又米國の脫退を、承認し得るや否や、ウイルソン君の苦心察すべき也。西園寺侯の如きは、洵に幸福なる一人と、云はざるべからず。

◇對支新借款團は、我滿蒙除外に對し、又意見ありと聞く。吾人は茲に於て、過般逝ける露國前外相イズボルスキーを憶はざるを得ず。彼や當年、米國が我滿鐵中立問題を提げて、滿蒙に於る日露の勢力を覆さんとするや、彼は斷々乎として、米國の提議は我既得の權利を危殆に陷るゝ者也、と聲明し以て一擧に此の鼻を挫げり。借問す今日吾國に此の勇氣ある者ありや否や。

◇基督敎同志會なる者生れ、在來の基督敎は餘りに狂信的にして、理想的也、實社會の生活と接觸せずと叫び、日本に於ける基督敎改造の旗を擧げたり。即ち基督敎は日本に於ては、日本の國情と相一致せざるべからずとなす、日本基督敎の獨立は愉快也。今日の日本は最早ヤンキー黨の跋扈を許さゞる時代也。

◇多年問題となり居たる、官吏の長劍に金筋帽は、愈々今日を以てお名殘となり歷史の頁を飾る筈也。或は別れを喜ぶものもあらむ、又は別れを悲しむものもあらん、吾人與り知らずと雖も、何だか氣分の一新を感ぜずんば非ず。

◇照れば旱魃となり、降れば連日鬱陶し、近來の朝鮮天候程不快なるものはなし。

柳下駄各種　並に薄板製造
從來合名の處今回一手に引受け事業擴張し販賣に從事致候間多少に拘はらす御用命の程奉伺候
朝鮮新義州眞砂町三丁目　福永商會

釜山商店案內

長岡商店

釜山　㊟あづまや商店　洋酒・罐詰　糖粉・官煙　電話三五九番　振替京城三九番

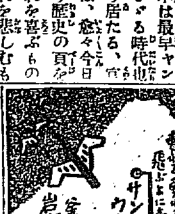
酒精　燒酎　西貢米　碎米　砂糖　麥粉　釜山埋立新町　[illegible]商會

島田糸店　電話五七八

洋鋼鐵道船舶土木建築材料其他工業諸器械附屬品商　角野商店　釜山辨天町　電話三三三番

石鹸界之霸王　精選品質本位　ドーマス　釜山草梁

青竹直輸入販賣　豐後石炭一手販賣　海產物肥料商　左官用海草　萬荷受問屋　釜山高島町　ⓡ三谷商店　電話一二一番



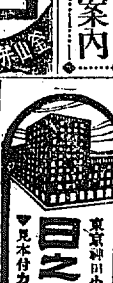
サンエス　萬年ペン　ウオタマン　釜山本町一　岩瀨[illegible]　電話五五五番

東萊鑛泉水　サイダー　食料品　罐詰　雜貨　釜山　山西合名會社

騷擾事件醵出金收支精算書

收入　一金千六百五拾四圓六拾參錢　別紙名簿ノ通
支出　一金千六百五拾四圓六拾參錢
內譯
金千六百圓　政池中尉以下九名別記ノ通贈與
金拾五圓　慰問書及名簿印刷代
金拾八圓參拾壹錢　郵送料
金貳拾壹圓參拾貳錢　新聞廣告料

死者　傷者
（贈與金額・勤務地・官職・氏名・出身）
金參百圓　成川憲兵分隊　憲兵中尉　政池[illegible]
金貳百圓　沙川憲兵駐在所　憲兵上等兵　[illegible]
金貳百圓　孟山分遣所　憲兵上等兵　[illegible]
金貳百圓　沙川憲兵駐在所　憲兵補助員　[illegible]
金貳百五拾圓　同上　同　[illegible]
金百圓　寧越憲兵分隊　憲兵軍曹　[illegible]
金百圓　孟山分遣所　監督憲兵補助員　[illegible]
金百圓　中和警察署　巡查部長　[illegible]
金百五拾圓　陽德金融組合　理事　[illegible]
發起者　工藤英一外四名



日之出印便利冠　東京神田小川町　日本建築用製紙株式會社　見本付カタログ進呈

英國製合服冬服多數荷着仕候
モーニングとセビロは丁子屋へ
▲外に既成品
セビロ三揃　四十八圓
紺メルトン詰襟上下　四十五圓
サージ並にチーバコート　四十五圓
スコッチ地トンビ　三十五圓
右澤山出來仕り店頭に陳列致居候間御來店の上多少共御買ひ上げの程願上候
平壤旭町　丁子屋洋服店　電話長二七番　振替京城三五二番

御化粧用　ベスパー石鹸　VESPER TOILET SAVON　萬玉洋行

橋本商事信託事務所
▲各種事業企劃及設計
▲財產管理事務
▲財產整理及清算事務
▲一般代理業務
▲不動產鑑定及調查事務
▲貴重品保護預り
右に關する附帶事務も懇切に取扱可申候
土地家屋格安賣物あり御希望の方は御來談を乞ふ
京城本町四丁目百十一番地（電話一八二七番）
主任　橋本茂雄
顧問　前京城地方法院判事辯護士　切山篤太郎

優等清酒

京城永樂町二丁目　本莊酒店　電話六九四番
仁川京町　本莊支店　電話一六〇
安東縣大和橋通　本莊支店　電話一七〇

果實青物　海產物　委托賣買
委托品は確實迅速に御取扱可申候間多少に不拘御出荷被下度候
京城南米倉町市場　貿易問屋　㊨岩城商會　振替京城一〇〇六番　電話八四二番
紀州柑橘組合指定問屋　[illegible]生命保險會社代理店

悲雨蕭々、靈輿に降り濺ぐ

哀愁一しほ深き
故趙重應子の葬儀
朝野の名士悉く會す

夜來の烈風吹止むかと思ふ間もなく沛然として降出せし豪雨！木も草も雨を垂れて暗愁自から四邊に充つ、八月三十日、故從三位勳一等子爵趙重應氏が永久に還らぬ遺骸を收めたる靈輿が追懷多き永樂町の自邸を出づる日は來りぬ、此日朝來微宵の繼なる同邸にては狹くより門を開き葬儀委員長李完用伯委員副長韓昌洙男以下委員多數葬儀係室に參集し準備おさ〳〵怠りなく待受けしが吊客は午前六時頃より續々として來集し七時を過ぐる頃には邸の內外は勿論大幕を張りて用意せる永樂町の大通に至るまで人と俥と自動車馬車にて溢る、ばかり降り頻る雨に濡れしほたれたる黑衣白衣の人の姿庭內に置列べたる花輪に果敢なき生命を注ぐやうなる雨の音も一入の悲しみを添へたり

此の悲劇
最後の訣別れに母堂 聲を惜まず慟哭
肅かな發靷

定刻を過ぐる一時間は雨に濡れ八時に至り庭前に据置きたる柩車に白布を捲き天蓋を蔽ひ飾附が終れば沈々と響く一聲の

合圖の鈴 の音、內門の裡より勳記を捧持せる禮裝の人現はれ次いでけばゆき銘旌を[illegible]て運ばれたる故子爵の遺骸は八人の輿丁の手に依つて擔ぎ出されつ、後に隨ふは悄然として悲愁に鎖されたる喪主大鎬氏白麻の喪服に冠を頂き

青竹の杖 をつきつゝ之れと同じ裝ひなる竹子夫人、今年十二のいたいけ盛り文鎬氏の手を曳き首垂れ靜かに歩み出づ後には近親の人々何れも低く肅々として續く

紅く涕瞳
白無垢姿の喩ら

らしたりさ凜しく、小さき白絹の元祿袖白の扱帶を背後に垂れ結びたる下の頑是なき淑鎬孃(六)の手を執りて立出づる姿又なく慇なり、胸を刺すやうなる哀號の聲房の內に高くながく響きてポプラの葉平ほろ〳〵と遺骸慕な〔く〕柩車に轉移らんとする時左手二階の小窓開くよと見れば侍女に扶けられたる故子爵の

母堂朴氏 の姿現はれ今年八十二歲の老の涙後れ先だつと宿命とは云へ今を限りの我子の遺骸を見送り〳〵遂に得堪へず慟哭せしは痛ましき限りなりき、八時三十分靈輿は豫定の行列に擁せられ雨降り止まぬ雨中を淨陞子の如き弔祭者の間を肅々として練出せり

哀號の聲と共に

葬列肅々として進む
沿道弔葬の傘に埋もる

葬列は先頭に二名の騎馬巡査並行し常炬社會吊旗之に次ぎ鬼面の方相氏乘馬にて兩側を御する間に社會團代、大正親睦會吊旗總代と親信社吊旗總代とは並んで之に續き其兩側は

哀號の聲 哀しき乘馬の哭婢にして交椅の行者と香床の行者は其後に、色美しき紗籠二十品燈一個更に紗籠二行に各十箇を列ね魂轎を中にして左右に別陪各一人後に陪行員一人、較詞を捧ぐる者と別陪各一人を左右に侍せる魂帛腰輿は一人の陪行員を伴ひ

色彩様々 の紗籠、花環生花造花數十百其間を進むは葬儀委員長李完用伯外委員、肩輿葬儀、藥學校生徒代表者、銘旌、功布、巡査二名、燦爛たる雨前の捧持員は四名なり、別香亭前後を左右にし雲亞の形を畫せる挿翣に華麗なる十箇の特製造化燈を四方を圍み黑白の紗籠を後にせる故子爵の靈輿は十八人の

巡査に依 つて守護せられ、靜かに之に隨ふ喪主大鎬氏、文鎬氏竹子未亡人淑鎬孃は馬車にて有服親無服親之に次ぎ葬儀委員各會葬者各吊客は已がじ、自動車腕車馬車にて其後より騎馬巡査殿と爲り葬輀行列の長さ數町に達し類ひなき悲壯の觀を極めたり、斯くて永樂町を出づるや右折し黃金町通を直[illegible]

趙子爵の葬儀
(右より)(一)靈柩邸宅を出づ(二)永訣式場にて靈輿を待つ人々前面は宇都宮軍司令官次は淨法寺師團長(三)柩中の行[illegible]

禮裝の人

犇々參集す
永訣式場の雜踏

折柄の雨 も・のかは故子爵の靈を送らんとする者兩側に人牆を築き雨傘と蝙蝠傘と鮮人傘とは蓮の葉の搖ぐが如く波打つ群衆幾萬を以て計へられ靈輿の列は長蛇の如く其間を肅々として永訣式場に向ひたり

今日亡き人の永訣の式場にと定められたる訓練院の私立朝鮮藥學校にては其校の

名譽校長 故趙子爵の靈を迎ふに忙しく校長室を特別席に事務室を葬儀係室に、第一第二の敎室を吊賓席に宛て式場は左方の講堂二室を連絡して之に充當し、早朝に諸般の準備を終りて待つ程に雨も少しく小歇みとなれる九時近き頃より

吊客犇々 と參集す、宇都宮軍司令官、淨法寺師團長、松永道知事を先著の主なるものとし、李王殿下御名代李恒九氏、王世子殿下御名代李源昇氏、李堈公御使黑崎事務官、李鍝公御使末松事務官、新總督新政務總監代理、青木庶務部長、長谷川前總督代理神田事務官、山縣前政務總監代理藤波通譯官、兒玉前總務局長代理工藤事務官、渡邊高等法院長、芳賀總督府醫院長、大野中樞院參議長、鈴木小原前長官、國分法務局長、持地遞信局長、金谷府尹等を始めとし

京龍在住 の官民有力者數百名朝鮮側の貴族兩班其他の名流數百名自動車腕車馬車にて蝟集し來りさしもに廣き藥學校內も禮裝の人々を以て充滿せり

莊嚴なる永訣式

濡れ燕しきりに飛ぶ
痛々しき淑鎬孃の燒香

九時に至るや故子爵の靈輿は前揭の列序正しく校門を入れば校庭內廓に添ひ式場を圍みて堵列せる步兵第七十八聯隊より派せる一箇大隊の儀仗兵は徐に

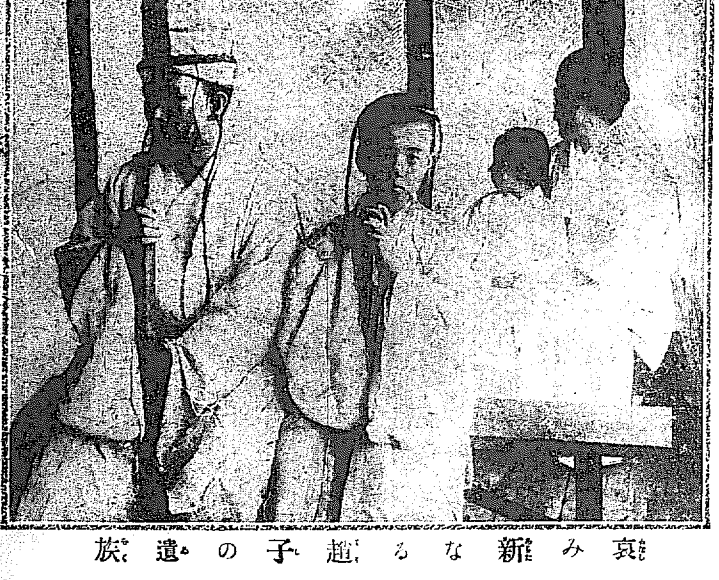
銃を伏せ て之を迎へ宇都宮軍司令官淨法寺師團長等は表玄關に立出で擧手の禮を以て迎ふ天晦く白雨降り歇まず轉た哀愁の迫るを覺ゆ此時千百を以て數ふる燕の群の飛翔し來りて雨の校門附近を飛交ひ弔意を表する如く

葬列を繞 る一種の悲愁は再び轎車を降りて式場奧深き祭壇に安置せられぬ靈輿は從三位勳一等子爵楊州趙公重應之柩と大書せる赤色の銘旌を後に前には故子爵が大禮服に盛裝せる肖像を飾り左右は雲翣亞翣功布を以て彩り色彩燦々なる

供物花環 のかずく、涙の種なる勳章弔詞、焚香の床も前にし向つて左方には喪主大鎬文鎬兩氏竹子夫人淑鎬孃、親族葬儀係員、右方には王家御使を初め宇都宮軍司令官以下有力者吊賓列席し式を開始す、先づ第一に儀仗兵の吊禮あり軍樂隊は

『哀の曲』を 奏し各吊詞の進讀ありて焚香は竹子未亡人喪主大鎬氏文鎬氏の順序を以て進み幼き淑鎬孃が獨り靈前に跪きし時の如きは打濕りて啜歔の聲堂に充ちぬ、昌德宮御使李王職李鎬兩公代理、總督政務總監代理青木戒三氏、軍司令官師團長其他の

焚香の終 りしは午前十時半なりき、爰に香煙立昇る中に悲しき永訣の式を終りて靈輿は再び葬列に移され故人が住[illegible]



哀みな新る趙子の遺族
左より長男大鎬氏・文鎬氏・淑鎬孃・竹子未亡人

浪さんの墓

緣も情も知らぬ手に營造りされて
西那須へ移葬

月白き青山墓地に大山信子さんの墓と云へば蘆花さん作中の當り狂言『獨參湯』『泣いて血を吐く不如歸』と唄に流行つた浪子さんを埋めた處として誰知らぬ者も無いが今回故大山巖公及び捨松子夫人を葬つた栃木縣那須郡西那須野の大山家の

塋域に 移葬せらるゝ事となり十月六日に墓石全部傳送さるゝ筈だが是に就き寺の墓地係荒木某氏は語る『信子さんは明治廿九年五月廿四日花の散るが如く惜まれて逝去されたが其後廿餘年悲しい宿命を纏めん、三年子女の捧ぐる香花絕ゆる間もなく乃木大將夫妻の墓と共に參詣者の

一名物 だつた傳說は信子さんと三島彌太郞子とは許嫁けの仲だつたのを肺結核で斷緣を一期として輿入れせずに病床に逝かれたので兩家の武夫さん[illegible]る三島彌太郞子も今年三月に逝去せられ程近い地下に後を追はれたと思へば一年經たぬに又信子さんの墓が

移られね ばならぬとは何處まで果敢ない緣であつたやら！信子さんの墓には實の母君淑子(明治十五年八月死)、三明治四十一年五月遠洋航海の途次澎湖島で軍艦松島の爆沈と共に殉ぜられた長男高氏(當時候補生)の墓碑も中尉の兄も

一緒に 葬られてゐる』去つて墓を訪へば葭簀が施してある人夫が五六人態くも無常も知らぬげに墓石を崩しては繩をかけて荷造りして木戶[illegible]浪子さんの運命を悲しんだ錦繡の落書のみ一杯に殘つてゐた(東京)

終に軍隊出動

砲兵工廠職工の動搖
當局は一步も假借せず
煽動者多數起訴さる

東京砲兵工廠のストライキは益々險惡となり二十八日夜は百名の[illegible]を除き殆んど職工全部が怠業したので[illegible]無届缺勤者に對しては斷然解雇すべしとの掲示を發する等形勢甚だ險惡となりつゝあるが一方[illegible]を奪ふると共に治安警察法第十七條を適用してストライキ煽動者と認むべきものを檢擧せんこしつゝあり又從來政府は相當の主張に依るストライキは勞働者の權利として自由放任主義を執り來りたるも最近の形勢は單に勞働者に依りて罷業を行ふに非ず局外者が是れが煽動せる形跡あり政府は是等外部の煽動者に對しては嚴重に取締ると同樣に假借なく治安警察法第十七條を適用するの方針を決したるもの、如く既に二三工場のストライキに於て煽動を試みたる友愛會々員は檢事より起訴せられ居るもの、如し(東京電報)

黃海の海賊

五道沿岸汽船行脚
搜索隊を派遣
航海を終つて　京城　魚生

船長の話、安眠島の住民、沈沒船を掠奪にする、全島民を拘束、隨分慘酷な奴も居る、其の巢窟は？名から奇妙な狐島と鹿島、不思議な警官の行方、生か死か

山が兩方から狹つて、入海に細く切つた口である月は澄んだ空から淸らかに光りを投げて、水の面は玻璃を張つた樣、眼に近く又遠い嶼に白く、靜かに見ゆる[illegible]棚引いた中から、瞬く樣な灯が漏れる、泡に靜かな夜であつた船長は

コツプの麥酒 を半分程グイと呑んで日に焦けた面は更に赤い、又た事務長の注ぐのを無言に其の上に受けて、ハンカチで無造作に口を拭つた。『全くです、私は未だ此の海上生活をやつて[illegible]永年南鮮の海に船に乘らぬ中か[illegible]來ましたが』と云ひかけて、何か[illegible]びコツプを取ると、今度は一息に呑乾して、而して何人にも[illegible]がさぬ樣に、聲で塞いで一口[illegible]分海賊は多いです』と輕く云つた。

忠南鰲川港て 今や船は一時間半の潮待ちをして居る。『海賊こ云へば聊か大袈裟かも知れぬが此港口に橫はる安眠島等の住民中には、海の渡世の盜賊が多い前年麗水丸が沈沒した時、綾波丸が難破した時などは、綺麗に其等の海賊の爲に、目覺いものは取られて仕舞つた、實際ですよ、此處いらの住民は、難破船を待つて居るのです。又前年左水營沖の牛耳島で、遞信局の光丸が難破した時にも、

船體の用材は 愚か殆んど總て其等の掠略に逢つて、警官が一時島民全部を拘束取調べた事もあつた。が之等は未だ海賊中でも大したものではないが、その大きな奴になると隨分慘酷な事をやります、其等の巢窟とも云ふ處は、此の鰲川の出口の元山島の沖合にある其の名から奇妙な狐こ、鹿島に住む居民である、或る年の事

海賊搜査の命 を受けて、警官が四名此の狐島と鹿島に渡つた、處が出發した丈けで、少しの便りもなければ、歸任當日になつても歸つて來ぬ、警察署では心配を始めた、之れが一人二人と云へば兎に角、四人が何れも行衞不明になる事は無い筈だ、而し依然として四人が四人迄總て音信不通である。と、何處からともなく、狐島で警官が殺されたと云ふ風說が高くなつた、警察署では

愈々不思議と 更に多數の警官に命じて、搜査隊を編成し、孤島に押し渡る事となつた』船長は吸ひ出した朝日を、寢衣の中に差し込んで『其ら實際大騷ぎでしたよ』と、一坐を見廻した。

鮮商閉店す

至極平穩無事

二十九日一齊に閉店せる京城市內の鮮人商舖は三十日に至り其の約八分通りは開店するに至れり殘り二分は尙開店せざるも時恰も雨天にて開店するも思はしき商賣なきより其儘休業せるもの、にて天候恢復と共に總て開店するに至るべし尙昨二十九日午前中の形勢にては聊か不安の念なき能はざりしも其筋の用意周到なる戒に依り午後二三時頃よりは鍾路四辻の群衆も散り失せ夜に入りては同所附近に多數の露店を開設する等至極平穩無事にて何等の事故も發生せざりき又京城に於ける閉店騷ぎの各地方に傳播するなきやを憂へたるも孰れも何等の異狀なかりし由

日射病に罹る

羅南師團の兵士

羅南第十九師團管下にては第三[illegible]閲中なるが數日來の暑氣は酷烈にして[illegible]多數の日射病者を出だし目下之が手當中なり(羅南)

電車破裂く

脫線して電柱に衝突
從業員負傷

三十日午前零時半光熙門發南大門行電車が訓鍊院前附近に於て突如脫線し電柱に衝突し前部は中央より電柱に喰入り前部の二箇所破壞したる上車掌運轉手共に負傷したる椿事あり當該車は第七十六號運轉手は一五三[illegible]車掌は三八四申善三云ふ

著なるが最終電車の事とて一人の乘客もなく車掌運轉手が負傷したるのみなるは不幸中の幸こ云ふべし原因は目下取調べ中なるが聞く所によれば運轉手が一時も早く運轉を終らうと思ひ光熙門發後全速力にて驀走し現場に差懸るや同所は線路不良の箇所こて急に脫線したるものなりと該電車は漸く卅日午前七時半修理を終へ車庫へ引揚げたるが從業員の負傷は至極輕微なり

北京學生大擧して

總統府を襲ふ
間島より入京せる者と合同して
和平問題に對する不滿か

北京より某方面に達したる情報に依れば廿八日夜北京學生團は間島より上京せる者と合同して總統府を襲ひたるも遂に軍警の爲めに沮まれ退却するの止むなきに至りしが其襲擊目的は何にあるか不明なりと雖も南北和平問題に對し徐總統は北方軍閥の首領と接近せしに非ざるかと[illegible]せしに非ざるか(奉天特電)

松茸の走り

百目十二圓

松茸の走りが出た例年よりは幾分か早目であるが本町の下川商店で聞くと『釋王寺の走りものが二十八日に始めて京城に來ましたが、昨年に較べると二日早いやうです相場は百目が十二圓と云ふ値です飛切りですから値もよく昨年に較べて三圓高です未だホントの走りですから仲々高値ですが本年は天氣具合が善いので釋王寺方面の出來方は善いさうです何今電報で第二回の入荷の案內が來ました是は値段も百目十圓に下りました』

勳八等泣く

木浦碇泊中の漁船乘組漁夫山口縣熊毛郡佐賀の關生れ組谷松市(三[illegible])は二十七日朝より船中にて飮み始め午後一時頃櫻町十八番地の雜貨商金子富吉方に至り居合せたる同家の長男富雄(七)を彼方へ行けと叱り飛ばし家人の留守に乘じて金箱に手を突き込み六十八圓を攫み出しその金で近所を飮み廻つて居たのを捕へ取調べたる所二つに斷れた一片の札の一片を持ち居りその一片は金子方の金箱にありたれば飛んだ嫌疑上使が出來上り二十九日檢事局送りとなる日獨戰爭に出征して勳八等瑞寶章を授けられたる者なりと

公會堂上棟式

奉天公會堂三十日午後四時より上棟式を擧行さる(奉天特電)

灯

赤池新內務局長の[illegible]沼瑞璣氏は『赤池君こは同窓であつた』る『赤池君こは大學時代に机を並べて居たが識見なぞして所謂重んじた精神的の人で直情徑行と云つた型です然し懸けかけて行く人であるから難波を活かして行くであらうし又新しい計畫も起されるでせう兎も角ピシ〳〵やる人ですよアハ……』▲朝鮮の古諺に『朔日に雨が降ると洪水が出る』と云ふのがあるところが此夏は陰暦の七月一日に雨が降つた今は雨日豪雨續きなので古老連は頻りに心配して居る▲又或る地方の鮮人は萬歲なんか唱へて騷ぎ廻つたから神罰で旱魃と洪水とが襲ふのだと心配して居るとか▲所が九月は荒れる月なのでヒヨツトしたら此迷信が裏書されるかも知れない迷信の種は盡きぬものだ

連絡船上陸者

[illegible]向井子、同勝代、鋼木保次子、坂牧はん、同るか、同[illegible]つ子、大吉見すゞ、小田切彥[illegible]同せい、同つる、同かつ子、同く[illegible]熊谷子[illegible]、本多一郎、杉[illegible]、田島村[illegible]二郎、松前亨一、同もと子、[illegible]大桃磯東、三等三百八十四名

大[illegible]　曇少雨後晴

演藝案內

壽館　本町二丁目　電一〇五〇　廿九日より『毎日六時開演』　京山春駒浪花家虎嬢合同一座　明烏　京山小春　十勇士　京山桃春　義烈百傑　京山春三　南部誠忠錄　浪花家虎嬢　演藝集　日露戰記旅順背面總攻擊　五月雨日記大西鄕[illegible]　二席　京山駒[illegible]

大正館　櫻井町　電話八七三　日本活動寫眞會社代[illegible]　廿九日より特殊大寫眞提供　大阪北野小學校[illegible]『人を殺す迄』[illegible]　長尺　米國メトロ會社傑作　活劇　戰時殘る三彈　全五卷　新派悲劇　子守唄　全六卷　[illegible]

浪花館　京城明治町　電話二六〇　九月一日午后六時開演　革新浪界の泰斗　廣島大藏一行　演藝集　五郎正宗　敷島越後　名工左小刀　敷島如燕　脚牛重兵衞　早川辰美　軍事探偵橘秀雄　浪花家大城　藝者の誠　敷島　明治白浪五人男　敷島大藏

◎大好評　日活會社本年度撮影　新派悲劇　子守唄　軍事活劇　殘る三彈　大正館

喜樂館　本町一丁目　電話五九七番　有樂館改め　廿九日より特選映畫提供　[illegible]ドーグラスの飛行　五卷　新派悲劇　野狐三次　全五卷　日活會社本年度新規大撮影　[illegible]

文樂座　本町五丁目　電話二六八番　喜劇スズメ會男女優劇一行　廿一日[illegible]一回替り[illegible]

壽座　京城本町　電話五七八　新椿姫　八場　喜劇意氣地　三場　[illegible]

大日本[illegible]　田村寶店　黃金町[illegible]

第五版

眞の鮮米が東京に 出て始めて其の價値が解った 今迄の鮮米は外米との混淆

京城の天日常次郎及び平壤の齋藤久太郎の二氏は過般古賀拓植局長官等の賛成を得て朝鮮米を東京に移出し東京市の公設市場に於て販賣すべく本月初旬第一回の輸送として精米三千石を更に第二回九千石の輸送計畫中なるが右に關し齋藤久太郎氏は平壤支局記者に語りて曰く古賀拓植局長官や東京府知事の勸めに依つて今度始めて東京に

眞の鮮精米を

持行き東京府公設市場にて上米一斗五圓十錢で賣ましたところ府下各地の市場より注文殺到し販賣者たる東京府は瞬間に賣盡し今回第二回の賣米九千石輸送の計畫中にあるのです元來東京に於ては朝鮮米と云へば

甚しく誤解され

不良の物と思ひ一向食る氣が仕ないといふやうな有樣であつたのです其れは其等蘭貢米や西貢米や其他の外國米を混合したものを朝鮮米なりと稱して商人が賣つて居つたからであります目下東京では上米一等六圓三十錢、二等米六十一錢、三等米五十九錢を唱へて居るのに內地

一等米と同格の

朝鮮米を極安の五十一錢で賣つたので買手の驚きは容易ではありません私どもが賣出の始に當つて東京府の斡旋に依り都下百數十社の新聞通信雜誌記者を招待し試食會を行つた所出席の記者諸君は味が良過ぎるが之は炊き方があるのだらうとの

奇問を發せられ

た此席上には野田遞信大臣や古賀拓植局長官東京府知事美濃部鮮銀總裁其他朝野の名士も列席して居られたから私と天日君とは種々說明をして決して炊方に依りて味を害けるのではない

只水の入れ一つ

で水の入れ方が內地產米より多く入れなければならぬ其れは米が好いから水の引きが多い故であることを說明したところが何れも其の朝鮮米の味を知つたと云ふ調子で喜ばれました野田大臣や美濃部總裁よりも色々と說明があつて私どもは實際嘖々たる好評と感謝の辭とを受けて何とも云へぬ愉快を感じたのです

此噂が東京全市

に知れ渡りて東京市內の米商人百二十人より賣買取引の賣らして貰れとの交涉を受けましたが之は私どもが今回內地の人々に朝鮮米を紹介する目的を持つて來た其れと共に從來の米價調節に一大自覺を與ゐる考へであることを申述べたのであります

開墾助成法

それから試食會の席上でも彼の如きも內地同樣朝鮮に施行せられたき希望を述べ且又鐵道其他交通機關の改良發達を促進されんことを陳べて置きました目下朝鮮の產米は一反平均六斗、耕地二百萬町步にして

一千二百萬石の

產米收穫を得る譯であるが此二百萬町步の耕地の三分の一即ち七十萬町步に施肥及び水利事業を施せば上田一石の收穫二倍に

七百萬石の增加

を見る譯であつて現在移出力の二百五十萬石を加へて百萬石內地に移出することになるのである政府は外米食を奬勵して居られるが本年外米輸入高は四百萬石にして一石四十圓として

正貨一億六千圓

を外國に支拂ふことに成る正貨の海外に流出するは國家の爲悲しむべき現象でありとすれば如何なる方法を盡しても朝鮮米の增收を企圖せざるには居られますまい第二回の輸送は來月初旬發送することになつて居ります

物價騰貴と 其の影響 救濟策如何（一）

最近米價其他の昂騰を示し諸物價の亦隨逐ひに共止まる處を知らざる今日之が地方民の生活狀態に及ぼす影響如何に就ては常に識者の注意を怠るべからざる處なり今その仁川に於ける現狀に就き仁川或筋の調査せる處概要如左（仁川）

物價の騰貴に依り差當り其の生活に困難を感ずるものは下級俸給生活者並に勞働に堪ねざる老幼病者等にして所謂勞働者は各種を通じ一般に餘裕ある生活を持續せるものと認む又商人に在りても所謂一文商ひなるものは困難を感ずべき程度の者なりと雖も此種の商人は通常家族の內職的營業に外ならざるを以て俸給取りと同日に論ずべからず

職工 と云へば直ちに細民を聯想するが如きも大工左官鍛冶工の如きは一般物價に順應したる收入を得つゝあるを以て生活困難と云ふべからず仁川に於て多數の職工を使用せる工場は籾摺工場、精米工場、燐寸工場、硝子工場等なるが精米女工及び燐寸工場の幼年工の如き多くは家族的副業にして之に依りて生活の基礎を立つるにあらず而して前記職工に在りても平均一圓以上二圓の收入あり幼年工と雖も平均五六十錢の收入あるを以て比較的困難の度少しと云ふを得べし更に一般勞働者に至りては其の收入遙に職工に勝り搬軍の如き日收一圓以下は稀なるが如く彼の塩業者が使用せる荷造人夫の如きも平均三圓の收入を程度とし又輸出入貨物取扱人夫の如きも三四圓の收入あり

下級 俸給者の生活困難に至りては大いに同情に値するものなり所謂下級俸給生活者とは如何の收入を標準とすべきかと云ふに今日の物價は平均して戰前の三倍なるを以て今日六十圓の月收者は乃ち戰前二十圓以下の俸給生活者と等しく此種階級に屬する者は一面生存上に必要なる經費を要すると共に一面社會的地位身分に應じたる體裁を繕ふべき諸經費を要するを以て勞働者に比し困難の度甚だしきは同情に堪ねざるものあるべし今試みに大正四年六月の物價と本年六月との物價を對照すれば

品種	四年六月	本年六月
白米（石）	一三、四〇	四二、〇〇
金巾（反）	二、九〇	一一、〇〇
木綿（反）	九〇	二、九五
石油（函）	三、八六	一一、一〇
砂糖（百斤）	一三、〇〇	四二、八〇
鹽（同）	一、〇〇	三、〇〇

乃ち石油を除くの外何れも三倍際に達せるを以て今日の五十圓以下の收入者は從前の十五圓位の月收に相當し生活の困難察知するに難からず

漂零の主從七騎 阿兄の跡を追ふて天津へ

哈爾賓北方橫道河子に駐屯せる前吉林督軍孟恩遠氏の實弟にて吉林第三混成旅第一團第一營長たる孟恩鮮は孟督の失脚して天津に去りたるを以て自己の身邊亦面白からざるより遂に其後を追ふて天津に還る事となり六名の部下をして自己の家具家財を哈爾賓より長春を經て天津に向け送付せしめ自己は近く家族と共に引揚ぐべしと云ふ（長春）

鹽業者陳情（釜山再製塩業組合）

釜山商業會議所會頭大池忠助氏の名の許に左の如き陳情書を以て總督府に請願せり（釜山）

現今朝鮮に於ける食鹽の需要額約四億數千萬斤に上り而して其內鮮自給額は官私鹽を併せ約貳億斤に過ぎずして在鮮住民の生活上產業上缺くべからざる食鹽需要額の過半即ち貳億數千萬斤は之を關東鹽、山東鹽及靑島鹽等支那鹽の供給に俟たざる可らざるの狀態に有之候然るに從來支那鹽の供給源たる山東省石島方面の私鹽は支那の整理の爲漸次朝鮮への輸入杜絕せんとし關東州鹽は日本內地の不足補給に急にして朝鮮を顧みるの遑無之情勢に在り隨て朝鮮食鹽の不足は今や殆ど全部靑島鹽に仰がざる可らざるの運命に有之候惟ふに朝鮮に於ける鹽業の狀態は官營事業の整備擴張と共に前途益々其產額を增加すべきは疑を容れずと雖も一面在鮮人との增加と漁業其他の產業の發達に伴ひ食鹽の消費額は年を逐ひ益增加の趨勢にあり近き將來に於て到底自給自足の域に達するの不可能なるを信じ幸に關東州鹽は豐富の鹽田を有し殊に同獨逸租借地の靑島に我占領に歸するや同地の本邦人は將來鹽業の有望なるを看取し多大の資金を投じ鹽田開拓擴張の計劃を爲し今や漸く其の基礎既に定り日本內地及朝鮮に對する供給力は前途益增進すると共に我朝鮮として食鹽供給源の安定を得たるを欣幸とする次第に有之候然るに我釜山港には從來朝鮮に在りて最も靑島鹽の輸入多額を占め近年再製鹽業の勃興著しく本港の主要產業たるの地位を占むるに至り之が製品は廣く各鐵道沿線及沿岸地方は勿論遠く滿鮮方面へも輸出し本港の供給範圍は頗る廣汎に涉り居り候次第に御座候然るに我政府は今回日支協約に基き〇州灣を支那政府へ還付せらるゝ事と相成候趣其結果として同地に於ける邦人の既得權たる鹽業が支那政府の管掌に移り爲めに將來食鹽輸出の禁遏若くは高率の課稅等鹽業政策の變化を見るに至り候はば啻に本港斯業の死活問題たるに止まらず朝鮮在住民の生活及產業上に至大の影響を及すべく寔に憂慮に堪へざる次第に存候就ては當局に於ては這般の重大事情深く御認識被下此際我政府とも充分御協議の上〇州還付後と雖も同地の鹽業及其輸出に付ては從前の狀態を維持し得て何等支障無之樣最善の御措置被成下度切望の至りに不堪候依此段謹で陳情候云々

貯金の難易：實驗談：

五十圓迄が一番苦しい

東京府技師藤井熊太郎氏は貯金奬勵論者であり又之が實行家である氏は二十歲にならない時から貯金を實行し來り月給十五圓の時にも毎月三圓宛は必ず貯へて來た氏の語る所に據ると其の頃の方が物價も安く交際等の事が無くて却つて樂に出來た其の後三十圓の月給取となり四十圓となつても二割出すといふ事は決して困難を感じなかつた一番骨の折れたのは五十圓貰つて居る時代であつた其の時には二割は何うしても出て來ないで一割に減じた事もあり又全く殘す事の出來なかつたこともあつたは二三回あつた、かくて今日まで二十五年の間倦まずに貯蓄して來たが段々年が重なるに從つて樂になつて來る始めの千圓二千圓位に達するまでは骨が折れたけれど萬を以て算するに至れば最早自然に貯蓄が出來て支出が嵩んでも一向恐れなくなる（天保錢）

東西南北

▼▲露國動亂の大安賣▼▲露國動亂玩弄物として安買される爛たる頸飾章卅圓中には五圓位の安さのものさへありカフス釦用として賣行宜しき由

▼▲無數の羽蟻襲來す▼▲濟律にて先頃の夜無數の羽蟻の群襲來し各戶の點燈を目當に蠢黑に群がりしが燈火を消し焚火を爲し漸く驅除せりと

▼▲地方法院に就彈▼▲光州地方法院に飛ち込み硝子窓を破りたるは同地仲町田中市太郎（三七）にて罰金三十圓

▼▲減た馬山の洋服▼▲馬山にては一時十數軒の洋服裁縫店ありしも年々減少して昨今は三四戶となり夫すら馬山四分地方六分の割合なりと

▼▲藝妓一人月四百圓▼▲何と云つても滿洲なり遼陽にて先月中藝妓稼ぎ高の頭株一人四百五十七圓、酌婦同二百四十五圓とは大したものかな

望みによりて地主の爲に 荒蕪地を美田膏腴に 土地經營者の利用すべき絕好機關

朝鮮及び滿洲に於ける干潟地を干拓し河淤荒蕪地を整理して水田を開拓し併せて灌漑工事を起して用水不充分なる乾田或ひは畑地を良水田に改耕するを事業とせる黃海社は事務所を京城龍山榮町六番地に有し居る。而して水田の開拓に必要なる調査測量設計等をなすのみならず此の目的を達するために必要なる事業地の撰定事業の計畫出願に關する一切の手續と土地の買收及び工事の代理施行等資本家の委託により事業地の選定より事業成功に到る迄一切の事業を代行して居るのである

鑑て思ふに現今

我國は其年作に於て約二百萬石の米の不足を告げて居る。人口は年々約八十萬人を增加しつゝあるが故に米の需要も亦年々八十萬石以上を增加しつゝあるのであるから米の不足は年一年增大しつゝある譯である。此の不足を調節する事は國民經濟上現在及將來に於ける我國の產業上最も重要なる問題と云はなければならない。而して朝鮮には約二十萬町步の干潟地七萬町步の河淤荒蕪地及び百二十萬町步の

灌漑未成の乾田

がある此等は皆適當なる工事を施すときは良水田となし得るものであつて、米の增殖を計るために必要なる事業地である。內地に大なる米の不足あり朝鮮に之を供給し得べき事業地あり黃海社は玆にその任務を發見して起つたものであつて此事業の遂行に必須の學究と經驗とを有する技術家及び事業家の團體より組織せられたのである。今數千町步の面積に涉る水田事業を企つるとして見ると

之を遂行する爲

數十人の技術家を要するであらう。之が募集せんとするに際し善良なる人物を集めんとするには多くの困難を感ずるのであつて月給八十圓の人は百圓與へねば來ぬであらう。又は未熟の人物を容れねばならぬ必要に遭遇するであらう。此の如き寄せ集めの人には通常始めはその作業能率が低いのであつて夫れが六箇月一年と經つて

能率が常態に

達するのであるが其工事が二年か三年で終るとすれば其の終末に近づくに從つて之等の人には次の仕事を見付けねばならない。されば此の事業の都合よりも次に從事する事業の都合による轉職の爲めに人心の安定を妨ける事によつて工事の終期に於ては其の作業能率の低下を見るのは當然であつて事業の進捗亦意の如くならないのが常とする此の事業の始めて終りに於ける是等の故障を排除し極めて

短期間だけ有效

に働かしめると云ふ事は人物經濟上より見て甚だ不經濟である、大なる事業にあつては人物の撰擇に困難を感じ小なる事業にあつては良い技術家を得るに困難を感じて居るのである。

理由を發見する

である。而して資本家より完全なる信任を受け事業の經營を委託せらるゝならば最も確實に敏速に且つ經濟的に水田開拓事業を遂行し得る事を自信して居る。黃海社は黃海道載寧江沿岸の六百町步の干潟干拓事業及び平安北道大正水利組合七千町步灌漑事業を遂行した技術家を中堅として起つたものであつて干拓事業と灌漑事業には最初よりの學究と經驗とを有するものゝ集團である。其創業の大正七年四月から一箇年間に關係した主要な事業は左の如くである

（一）東京山本唯三郎氏の許可を得たる仁川附近六千町步の干潟地干拓事業それに關聯して富平平野の乾田を灌漑し此の面積六千町步合計一萬二千町步の水利組合を組織し漢江の水を利用さする事業合計工費約六百萬圓

（二）越後長岡市の川上佐太郎氏社長たる長岡拓殖株式會社企劃の京畿道漢江沿岸紅島坪開墾事業には洪水浸水地帶に防水堤防及排水閘門を築造し水田開墾して面積七百町步事業費一切約六十萬圓

（三）越後中野貫一、小川清之輔、川上佐太郎、長部松三郎、岸五郎、松田周平、小川清次郎、橋本忠三郎、伊尾穗之助、山口健造、中野信吾、上十三氏の委託により黃海道延白郡平野及千潟地干拓及開墾事業、千潟地面積二萬五千町步竟田一萬町步の水利組合を組織し東拓と協定して右平野を灌漑せんとするものにして事業費概算壹千萬圓にて此事業は現在に於て東洋第一の水利事業となる

（四）紀伊伊都郡南拓殖株式會社の委託による慶尙南道咸安郡の草生約六百五拾町步を洪水堤防を築設し閘門及排水設備をなし良田たらしむる者にて此事業費約六十萬圓以上は事業決定目下實測及び設計中のものなり又十八事業者の計畫あり先月農業土木の大家上野博士の來鮮を請ひ右の內延白水利事業及び山本拓事業の二箇所を視察して其有望さ稱せられた黃海社は出願其他の手續も出願の千潟地水利計畫、名古屋遞信局の百町步の千潟事業、仁川水道局の千潟地の朝鮮新稀の事業委託による千潟地五千町步の調査出願、今又九州某華族の委囑により大同江河口干潟干拓事業として外號委託出願其他の事業あり......水利事業調查出願此外黃海社が參與せる事業小なるものは現今已に數十を以て數ふるの盛况を呈し益々朝鮮產業開發のため努力しつゝある

商況

株式

東京現株（至急電報）

銘柄	拂込	二十八日中値（▲印騰貴）	三十日中値（△印下落）
鮮銀	一〇〇・〇〇	▲二〇七、七〇	……
同新	五〇・〇〇	△六四、五〇	……
京電	五〇・〇〇	▲一一五、〇〇	……
東拓	五〇・〇〇	▲七四、五〇	……
同新	一二・五〇	▲八七、五〇	……
殖銀	二五・〇〇		……

大阪株式（至急電報）

銘柄	三十日前場寄附	二十八日後場休會
大株	三〇八、〇〇	……
同新	三〇三、〇〇	……
郵船	二八五、六〇	……
同新	一四〇、九〇	……
商船	一八一、六〇	……
同新	一三八、三〇	……
鐘紡	……	……
同新	……	……
東紡	……	……
東棉	一五五、〇〇	……
常米	……	……
上取	五四、七〇	……

京城現株（標準直段）

銘柄	拂込額（▲印騰貴）	時價（△印下落）
仁取	二五・〇〇	二六〇、〇〇
朝郵	二五・〇〇	四〇、〇〇
電興	二五・〇〇	二〇、〇〇
皮革	二五・〇〇	二六、〇〇
東畜	一二・五〇	一五、〇〇
朝紡	一二・五〇	三〇、〇〇
朝紙	一二・五〇	三四、〇〇
商銀	二五・〇〇	五八、〇〇
同新	一二・五〇	▲一七、〇〇
滿毛	一二・五〇	三九、五〇
滿糖	一七・五〇	三七、〇〇
鮮煙	二五・〇〇	二七、〇〇
輕鐵	五〇・〇〇	▲六五、〇〇
鮮土	一二・五〇	二二、八〇
東亞	一二・五〇	三七、〇〇
薬賣	一三・五〇	三八、〇〇
仁倉	一三・五〇	一六、五〇
製粉	一三・五〇	一九、〇〇

仁取安値狙ひ

仁取株は取引所の出來高激增に依る手數料收益の夥多なるを見越して今日の安値を叩かれるだけ叩き落して買拾はんとする者現はれたるが如く昨今隨所に仁取の有無を問合せ安ければ買はんとする商輩あるも何分百五十圓位迄に叩かれゝ處より賣手も容易く手放し兼ねたる風情あり事實當地にては最近百六十圓ドメに十枚の商內を見たるが最安値にて未だ纏割れの商內を聞かず手持の賣物も夫より少なかるべく而かも八月中の手數料は十一萬四千四百五十五圓と云ふ多額に上り取引所開まつて以來の收益を擧げたる如く又最近申請中なりし仲買人增員も既に五人は其筋の許可を得たる等も取引所の繁榮を助くる上に於て確かに强材料たるに况んや東亞煙草新株の拂込みも愈々本日を以て締切りたるを以て人氣は再び仁取株に循環し來るにあらずやとの說あり從び近く安値買の手の延び居れるべしと稱されに居れり

殖銀は大阪高か

殖產銀行株は昨日本社入電は八十七圓とありて非常の暴落を報じたるが如きも右は昨日の百圓唱へより昨日又十一圓高を報じ當地にても百四五十圓の手合せあつたるが大阪にて五十枚、十圓にて三十枚の手合せありたるを聞かば本社は東京電報なるを以て大阪の方特に買上げられたるにあらざるかと思はれ其後懸隔餘りに甚しきより或は電信の錯誤ならんかとも云はれ……

鮮輕鐵昂騰

朝鮮輕鐵は去る二十七日東京市場に於て五圓六十錢方の昂騰となり六十七圓の新高値を現はしたる由にて現物は六十五圓處を唱へられ居るも當地にての商內を聞かず

商銀新株上向

商業銀行株は增資前六十三圓處の商內少數ありたる以來保合の賣買を聞かざりしが最近新株落ちこ共に舊五十八九圓新十六七圓處にて漸々動き初めたるが中にも新株の希望者多きもの如く十七圓五十錢より昨日は十八圓五十錢と一圓高を唱へらる

本日の商內株

郵船五十枚▲同新五十枚▲川崎造船新五十枚▲興業銀行百八十枚▲東拓新四十枚▲鮮銀新三十枚▲上取二十枚▲電興四十枚▲大新二十枚▲滿鐵第二新百枚▲朝鮮土地百六十枚▲朝紡八十枚▲大阪火災新五十枚▲殖銀八十枚

米況

東京期米特電

◎三十日前場　當限　納會　中限寄付　三十七圓三十九錢

	二十九日後場	三十日前場
寄附	三七、九四	三六、九四
高値	三六、六〇	……
安値	三六、九四	……
止め	……	……

大阪期米特電

◎三十日前場　當限　納會　中限寄付　三十九圓十四錢

	二十九日後場	三十日前場
寄付	三八、〇七	三七、九七
高値	三七、三九	……
安値	三七、三九	……
止め	……	……

◎正米　三十錢安

神戶期米特電

	二十九日後場	三十日前場
寄付	三七、〇九	三七、七五
高値	三七、八七	……
安値	三七、〇九	……
止め	三七、八五	……

◎正米　二十錢安

下關期米特電

廿九日後場（晴れ）

	當限	中限	先限
寄付	三九、五〇	三九、五〇	三七、九九
高値	三九、五〇	三九、八〇	三八、八〇
安値	三九、五〇	三七、八〇	三七、八〇
止め	三九、五〇	三七、九〇	三八、八〇

仁川期米 三十日前場（大反撥）

今朝天候西南の風に豪雨を降して一入弱氣の氣勢を挫きしが前日阪地の三十八圓〇八錢こし高ため市場の人氣俄然沸騰し値定買ひの旺盛に四十二圓七十錢こ四十六丁上放れに寄付き八十錢こ躍上げし踏込みしが高値は目は踏物高みに八十錢九十錢こ利喰ひこ新規の賣物に七十六錢こ下押せしが目は買物に八十一三錢を採合ひ一錢こ引

▲第二節　中出來ざるが先八十錢より二錢こ締りしも利喰ひ諸の手詰物に八十錢ご鞘み採合七十八錢こ不勢に引

▲第三節　中出來ざるが先七十錢より三錢こ上向きせしが因の鞘りに六十九錢こ不勢を示した

京城正米市場

期米の反撥も利目滯く本日は無取引ながら依然安人氣を持續せり當は三等合格品四十三圓二十錢地摺並米四十一圓五十錢なるが賣人は安値に應ぜず買人は尚俄高見送りこいふ風體にて一般天候の霽れ待ちにあるが如し

白米引弛るむ

原料この採算漸次引締めを見たる白米市中卸値は此數日來無手合ひなから原料減切安氣配なりし爲め一時五十二圓三五十錢にて賣應じたる向は本日より五十二圓丁度に引下げたり

河筋產地割高

漢江河上は其後降雨なき爲めか河水の滑走を見す奔流地より寄……

市場雜觀

流石天災期の相場丈其の騰落の變化も特に激しく硬軟共に寸毫も油斷を許さぬ樣であるが併し期米界の落ちる賣線上では天井三日に底百日と云はれて居るが此の頃の相場は羊頭豐狗を反對に天井百日底三日と云ふ商勢を示して本月の如き四十三圓臺から四圓臺を殆んど一ヶ月も採合つて來た相場が翌月に迫りて外米輸出解禁と云ふ俄か材料に四十一圓七十錢こ高値より三百五丁も暴落し生れ値より百丁も下廻り久し振りで弱氣の天下の安人氣で十一月限の新市を迎へるかと思へば只々其の安値を半日も保たず今朝は忽ち四十二圓九十こ六十丁も跳返して矢張り强氣は買方……

◇三十日前場

	寄付	高値	安値	止め
一節	四二、七〇	四二、七〇	四二、六〇	
二節	四二、八〇			
三節	四二、七〇			
四節	四二、七〇			
五節	四二、七六			

◇出來高　三十萬九千六百石

◇帳入値段　當限　四十二圓　先限　四十二圓四十八錢　中限　四十二圓五十錢

手詰商內持合

前日引際强硬に打止めし折柄引合みて人氣を高四十二圓七十錢より九十錢こ踏物を喚びしが前日大阪意外の反動を移し續いて朝來の豪雨は却つて出水案じを當日こて目先の手詰め續出し頭を打ち六十九錢こ不勢を辿り因の狙ひ買に八十一錢こ齊き七十四錢こ殆ご手付鞘商內に持合ひしが前日の四十一圓臺は眼先小底か否か三百丁下げの揚句相場の綾こしても此邊の展りは當然なれは新市に移り興味ある持合破れを演ずるなるべし

▲第四節　中出來不申先八十一錢こ上向きしも八十臺には相當買物伏在して七十七錢こ弱み八九錢を採合引

▲第五節　先七十九錢より因の賣に二錢こ下押せしが押目は買好く買七錢こ引締め四錢こ打止めたり

仁川正米

前日は期米安に刺戟されて安唱への四十三圓見當にて神力米の今摺が馬場精米所に買取られたりこの噂なりし今朝は斯かる安値の賣物は更になし三四十錢高を主張され人氣を盛返して買方の手張り買惜みの形勢を示せり賣方こしても輸出には更に當地不引合なれば殆ご顧みる者なく現在の商內は只地場精米筋の取引に過ぎざれば僅か小口商內にして繰りたる口物は全然皆無の狀態なり自然在米は增加の傾向を示しつゝあれば此の邊保合相場に過ぎず滿洲粟は益々安氣配を唱へ鮮人筋思惑者も狼狽の光景を示したり

三品

◎二十九日後場

綿布二路一三物十七圓二十五錢

限月	値
九月限	五五六二〇
三月限	五二三五〇

雜報

大豆持惱み

大豆は引續き氣乘り薄にて商內行はれず氣配又軟勢を脫せず見當相場こしては龍山物十九圓三十錢京元線十八圓六十錢唱へ……

支那粟無商內

支那粟は人氣落目に際し雨天事なれば昨年後以來商內皆無なるが現物は處分品の凭れもありて大體に賣氣乏しきが如く相場は各自區々の唱へにて一寸捕捉し難き有樣なるが買物中には事實海城十八圓三四十錢の買物ある樣にて買人の多くが先物に傾き居れる丈け尙此落取人なしといへり

丸鐵小安し

鐵板類は英國の輸出力缺乏と米國の高報によりて本邦市場手堅しと雖丸鐵は最近米國物の輸入ありて多少人氣の壓迫を受けしが如く此處阪地入電小安を移し居れば眼先當地も幾分の引弛みを見るに至るべし

鉞力板低落

近來輸入噂を唱へて强調を辿りしも鉞力板も昨今郵々輸入を見始めたると同時に之に怖氣付きたる隱れ品の賣退きもあるやに阪地の安電こ相俟つて五圓方の低落を告げ此處六十五圓を唱へらる

小賣白米

◎一等米　五十三錢

◎二等米　五十二錢五厘

白米標準値

一等米　五十二圓丁度

冬物品特賣
別テ昨年殘品ノ分ハ早イ程格安品澤山御座候此際御用命願上候
龍山元町電話九二八
こまや吳服店

名菓
金剛山
櫻の花入

▲有効確實ニシテ實驗ヲ御ト
マラリア特効丸
定價表金拾錢　貳拾錢　郵稅金貳錢
販賣店各地有名藥店
龍山元町二丁目
本舖　林藥房
代理店　京城本町一丁目　山岸天佑堂
代理店　釜山辨天町　大黑南海堂
代理店　平壤大和町　森田草藥堂

又又苗木が出ました
丹波栗苗木

▲一ヶ月で卒業
寫眞術 通信教授
東京市寫眞術學會

賛化病院
內科 小兒科
入院隨意
施療す 毎日五名
醫學博士 古城憲治
打田義芳

日本名刀傳 百四十七

東京 田邊南龍講演

堀川の國廣(十九)

父國昌は固より堅氣一方の人でありますから、御家老のお娘御を伜の嫁にすると云ふは、此の上ならぬ名譽の事であるから、先方樣でさへ下さるのならお受け致したが宜からう、然し今一應は辭退せよと殆ど承諾してくれましたから、國廣も喜んで再び辭退致しましたが、天此の豪傑に佳人との緣を結ぶに意ありしものと見えまして、殿樣の媒酌にてお八重殿は目出度國廣方へ十三荷の嫁入道具にて輿入致し、三々九度の盃も無事に納まり國廣お八重の仲も至つて睦じうございましたが、此の緣談が國廣の身の上に災難の及ぶことになりましたけに人生の行路ほど面白きものはなく、さまぐの世の有樣、善と悪との岐れ路、善が悪となり幸が不幸となる、また禍が福となる、塞翁が馬とは能く言つたものでございます、さてお八重が國廣方へ嫁入つたのを聽いて、驚いたのは深井玄番、伜左十郎の兩人、或日左十郎『お父上……』父『何ぢや』左『外でもございませんが、今日劍術の稽古に參りまして異な事を承りました』父『ウム、異な事とは何だ』左『例の手前の緣談の一條で……』玄番『彼の件は其方も知つての通り殿の御媒酌で親父の大澤兵庫も大抵は承諾致して、唯娘の八重にも一應相談したいから一兩日返事を待つてくれと斯う申すのぢや、それについて何か變つた事でもあるのか、實は今日晝過に相成つたら御前體へ罷り出で兵庫殿の返事を伺はうと思つて居たところだ』左『イエ今日劍術の稽古に參つたらに兵庫殿の娘八重殿は國廣の許へ嫁ぐことに決定致しましたさうでございます、折角お父上より殿へお願ひ下されましたるも水の泡と相成りましたは如何にも殘念千萬の次第にござります』父『オ、左樣な事は一向に知らなんだ、然らば唯今直ちに御前體へ出て伺つて見るであらう』と、直樣支度して、殿の御前へ出まして 玄番『大澤兵庫の娘お八重殿は、手前疾くより伜の嫁にと懇望いたし居りたる故、先日お願ひ申し上げたるに何ぞ計らん、今日噂に承はれば國廣の許へ既に嫁入る約束整ひし由に候が……』半ば言はせず殿樣は『アイヤ、先日其方が申したる通りに兵庫へ取次致せしに兵庫は格別異儀なかりしも如何せん娘八重が其方伜を嫌つて、國廣の方へ赴きたいと云ふのだから致し方がない、此儀は予も彼是と申すわけには參らんから、左樣承知してくれるやうに、何も八重のみに限つた事はあるまいから、他に望みもあらば予が媒酌の勞を執つて遣はさう』玄番今は據んどころないから『左樣な儀でござりますれば、何うも詮方ございません、然らば再び殿を煩はし奉るは恐れ入ります次第にはございますが和田彦太郎殿の娘御お花殿を頂戴致したう、殿のお聲がかりにて貰ひ受けたら、やう相成りますれば、有難き仕合せに存じまする』殿『ア、成程和田彦太郎の娘なれば其方伜とも好い緣邊であらう、早速和田を招いて申し談ずるであらう』と、そこで又八百石の和田彦太郎を召されました、此方は俄に殿のお召であるから、何事であらうと固より溫厚質朴の人であるから、慌てゝ御前體へ出まする 殿『ア、彦太郎であるか、イヤ外の事でもないが其方の娘は當年何歳に成る』和『手前娘儀は、十九歳に相成ります』殿『アヽ左樣か、未だ良緣が取極まつてをらぬといふわけなれば予が媒酌して取らするが如何ぢや』彦太郎は頭を下げまして 和『有難き仕合せに存じまするが何家の御子息へお取持下さいまするのでございまするか』殿『それに控へ居る深井玄番の伜左十郎へ遣はしては如何ぢや』固より律儀一方の人で殿樣のお聲がかりと云ふのだから、一も二もない頭を下げまして 和『それは/\誠に有難き仕合せ、早速お受けいたしまするのでございます』前に控へて居るから、深井玄番は透さず 玄番『では和田氏、お受け下されたのぢやな』と念を押す。

蠶況

慶南の秋蠶

夏蠶は非常なる好成績を以て終了し秋蠶は一萬四千枚以上の掃立總數に達し目下の狀況は蠶兒の發育及桑の發葉も良好なる成績を示し加ふるに天候も申分なく春蠶の損害の挽回容易ならんが如し秋蠶は一時旱魃の爲め悲觀されたるも其後潤雨にて恢復せり(晉州)

九月一日

(舊)閏七月七日 月曜日▲ひのへたつ▲二黑▲先勝▲畢▲なる

▼二黑▲調子に乘る可らざる日
▼三碧▲目上の引立ありて思はぬ利益を得る事あるやも知れず
▼四綠▲何事も婦人に依賴すれば堅ふべし但掛け合ひ事は無用
▼五黃▲福德ある日なれど凝つては思案に能はず進むを吉とす
▼六白▲盛運の如くにて却つて位負けのする日控へ目にせば吉
▼七赤▲些しの苦勞あるも凡ては却て面白き結果を見て働けば
▼八白▲幸運の日なり併し口に財布は閉づるに利あり萬事に吉
▼九紫▲氣の弱れ/\する日にて思ひ立ちし事は行うて吉なり
▼一白▲働けば働くほど德の行く面白き日但し病氣を注意の事

九月二日

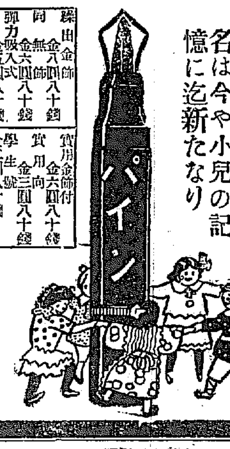
(舊)閏七月八日 火曜日▲ひのとみ▲一白暗劍北▲友引▲觜▲おさん

▼一白▲急がば廻るべき日なり
▼二黑▲諸事控へ目にすべき日
▼三碧▲喜び事降て湧く樣な日
▼四綠▲目上の引立を受くべき日にして心正しければ萬事に吉
▼五黃▲誠に幸運なる日の如くなれど其の實心中に辛勞あらん
▼六白▲油斷さへせざれば思ひの外に利益のあることあるべし
▼七赤▲爭ひ事を慎まば諸事望み遂げ得べく意外の同情あるや不知
▼八白▲自信さへあらば何でも成功すべく躊躇なくば遂げ難し
▼九紫▲操りては事を仕損ぜん

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)
入院隨意 酒井婦人病院
電話一八〇〇番 酒井一郎

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから……卸値が安いです……
京城本町二丁目角 古城贊化堂
電話一〇二番振替七三七番

内科 眼科 小兒科 入院隨意
京城黃金町三丁目赤門通(電車停留所前) 本田病院 院長 本田建義
附屬 京城肛門病痔疾療院 電話二四四三番 振替京城三三八番
肛門病新附 痔疾特種注射根治療法解說書入用の方要郵券十二錢



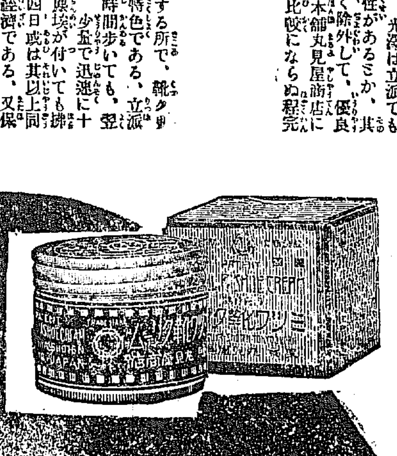
戰後の劇務を處理する第一步はパイン萬年筆の使用に始まる
優越せるパインの名は今や小兒の記憶に迄新たなり
操出金飾 金八圓八十錢
同 無飾 金六圓八十錢
彈力吸入式 金五圓八十錢
實用金飾付 金六圓八十錢
實用向 金三圓八十錢
學生號 金二圓八十錢
發賣元 京城日報社代理部 振京城三〇〇番

資本金 六百萬圓
積立金 操越金 百貳拾五萬圓
株式會社 十八銀行京城支店 京城府黃金町二丁目 電話四二〇番 五八〇 振替貯金口座京城八一四番
同 新龍山支店 京城府漢江通り拾參番地 電話五五〇番 振替口座京城一八貳三番
同 龍山出張所 京城府元町二丁目 電話一八番
銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

鶉卵配達開始
京城本町八丁目五〇 守山鶉飼育所 電話五四二番

珍書 無料的歡迎 見本入用ハ三錢切手五枚送付アレ直ニ密送ス
大阪東區上本町一丁目 櫻花堂

下山博士 ●田中博士 實驗の結果
淋病新藥 ツヨール
殺菌力を有し且つ絕對に胃腸を害せず
尿道炎睾丸炎膀胱炎消渴等一般淋病に偉効を奏し
理想的内服治淋劑と確定せる權威ある優秀新藥
實驗說明書贈呈
百粒入 五十粒入 參十粒入
東京日本橋區 製造元 大阪東區 發賣元



皮革の保存耐久に特効を有する代表品
專賣特許 ○ミツワ靴クリーム

靴に靴墨又は靴クリームを用ふるは、單に靴の美觀を保つばかりでなく、靴の使用能率を高むる爲である。故に此目的を達するには皮革の保存耐久に効果を有し、光輝ある色澤を迅速に發揮する純良なる靴クリームが必要である。然るに在來の刷毛を用ふる靴墨や靴インキ、又は靴クリーム等は、精細の試驗を行ふこと不完全なものが多く、硬に過ぎて塗布に困難を覺えることか、一回の塗布に多量を要することか、一壜の半分を使用しない中に變質することか、防水性が無いことか、手又は裾を汚すことか、光澤は立派でも皮革に無効であることか、塵埃を吸着する粘着性があることか、其他多くの缺點を有してゐるのである。斯く在來品の諸缺點を悉く除外して、優良なるものを案出するのは、甚だ困難とされてゐたが、ミツワ石鹼本舖丸見屋商店に於ては、ミツワ化學研究所試驗部の多年の努力を以て、在來品と比較にならぬ程完全無缺優良な靴クリームを、創製發賣したのである

○ミツワ靴クリームは
皮革の保存耐久に特効ある成物質を配合せることは、其特色とする所で、靴クリーム中に於て誇り專賣特許を有してゐることも、亦在來品にない特色である、立派に晃々しく磨き上げられることは勿論、耐水性の完全は雨中を數時間歩いても、翌日布片で摩擦すると、光澤は舊の如く、手又は裾を汚すことなく、少量で迅速に十分に光澤が發揮されるのである、且つ粘着性が絕無であるから、塵埃が付いても拂へば舊の如くなるのである、一回塗布すると靴を常用しても、三日四日或は其以上同樣の光澤でゐられる、そして其量は極く僅少で足りるから、頗る經濟である、又保存中變質の憂や、皮革に害を及すことなど勿論無いので、靴を用ふる以上は、此ミツワ靴クリームを用ふるに限るのである。

賣捌店 靴店、洋品舖、化粧品店、雜貨店、洋酒食料品舖、文房具學校用品
發賣元 ○ 東京市日本橋區橘町四丁目 丸見屋商店 電話浪花四〇四八・四〇四九 振替東京七一〇

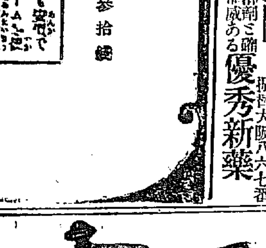
黑 赤 定價一個金參拾錢

靴は如何に高價でも安物でも、優良な靴クリームを使ふ使はぬこそで、保存耐久に大なる關係がある、殊に靴の價格が騰貴してゐる今日では、其保存耐久に特效ある此靴クリームは益々必要である。

博士の奧樣や
お孃樣方はみな──
ホーカー白粉の御愛用者
品質の優秀を以て皆樣の御推賞を添うせる
日本で唯一つの純無鉛
新發見 煉製
ホーカー白粉
夏の白粉は定りました──
決して化粧クヅレせぬ ホーカー白粉に決定
△白さが目立つて美しい
△ノリノビ共に申分なし
△決して化粧クヅレせず
△着物の襟を汚さない
△白粉ヤケや變色せず

定價 一瓶 廿五錢 送料 內地六錢
ホーカー液 ホーカー白粉 ホーカー美髮液 ホーカーパツト
東京神田和泉橋 本舖 堀越嘉太郎商店 電話神田四三二・四四二・四五 振替東京一一五六

專賣特許 不知火
不知火は在來の石油焜爐の如く不便な物でなく旅行や不時の來客其他火急の場合等に御座敷の上で即時に湯も沸き御便利なる事は世に出來而も德用で既に定評あり是非御試用を乞ふ



定價 家庭用一號 五圓 旅行用二號 同三號 同乳器 小包料二十七錢
京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

名刺 京城長谷川町 中田曾成社 電話二一〇五番

尼崎汽船仁川出帆

阪神大阪行 ○胖山木浦下ノ關
赤城丸 八月 日後四時
一心丸 八月 日後四時
神代丸 八月 日後四時
秀吉丸 八月 日後四時
君が代丸 八月 日後四時
大有丸 八月 日後四時
○印船客御斷 △印二等客無
仁川海岸町二丁目 電話五九番 高杉回漕部

共同汽船仁川出帆

直行 第十二共同丸 八月 日午後入港 第十一共同丸 九月 日正午出帆
青島大連行 第十共同丸 九月 日午後入港
突皇島行 第二共同丸 八月 日正午出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送
阿波共同汽船株式會社 仁川代理店 野口商會 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

日本郵船仁川出帆

濟州丸 大連、天津、牛莊行 八月 日正午出帆
高砂丸 八月 日正午出帆
相模丸 八月 日正午出帆

五光商會廣告

大阪商船出帆

朝鮮郵船出帆

[illegible]

汽車發着

[illegible]

京城日報
第五版
明治三十九年九月一日第三種郵便物認可
(年中無休刊)
發行編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話長六千九番 長六千一番 振替京城三〇〇番

[illegible]米國、露西亞に於ける價格は[illegible]占たるものにて消費者は國内製造家の任意要求する域に達する迄或程度の恩典を付與すべしこ主張し日本輸出[illegible]の輸入禁止を全然無視したる行爲にして[illegible]する價格を支拂はざるべからず[illegible]製品を制限するは消費者の利益圏への牛類を輸入する事を許可せしを前記事情にて去る[illegible]九年輸入證の五[illegible]だけ輸入を許可し再輸出保留品に制限に輸入し俵に商談進行せるを立證した[illegible]し尚ほ二月二十[illegible]の輸入を[illegible]る者に限り特別の證明に附する[illegible]税法は生產品の工場生產費の一割五分が英國内の勞[illegible]英本國向け本邦莫大小の前途は[illegible]樂觀を許さゞる狀況なり(節月)

京城日報
家族制度
助長すべき朝鮮の美風良俗

日本は家族制度を以て立國の基礎と爲し、其の個々の家族の結合したる一大家族は、即ち日本帝國の臣民にして皇室が之が首長こならせたまふこミは、日本歴史の特異なる事點にして、乃ち世界萬邦に誇る所の、萬世一系の帝統も、此基礎の上に於て天壌こ共に無窮なるを見る。明治維新以後、歐西の文物が輸入するに急にして、從つて彼の土に醞釀せる個人主義をも一併に嚥下し、之がために家族制度こ吻合せざる法律の制定もあり、又社會的にも思想の衝突を免れ得ざるものありしが、而も建國以來國民を支配したる精神は、容易に震撼し得るものにあらず、近時に至り、國民の大多數が、家、族、敵節を以て、自家傳來の至寶に易ふるの愚を悟り、法律制度より社會萬般の上に亘り、改めて之を吟味せんこするの風潮を生ずるに至れり。此の思潮は國民の最も眞面目なる自省にして、かくて初めて大和民族の眞價を發揮し、國運を永久に振張するを得べきなり。

朝鮮民の大和民族こ同種同根たることは、人類學、言語學、其他種々の科學的研究に依りて立證せらるゝ所なるが、其の社會組織の家族制の上に屹立せるも、亦極めて類似するの點なきにあらず。朝鮮に於ける家族制は汎く一族一門を包含することは、殆ご日本の中世以上の制に齊しく、同族互助の精神に富めること、大和民族こ雖も一歩を讓る所なかるべし。朝鮮儒教の根本義たる孝悌も、此の社會組織ミ相始終するものにして、凡そ朝鮮の良風美俗こして永久に維持すべきもの、實に此を以て第一こ爲さゞるべからず。吾人嘗て之を聞く、西洋人の始めて日本に來るや、慈善事業、社會救濟等總の歐米のそれに比して甚だ貧弱幼稚なるを見、以て未開の一象徴こ爲すも、住居漸く久しく次第に日本の事情を了解するに從ひ、日本には家族制度を以て一家一族相倚り相助け居るを以て、歐米の如く慈善救濟事業施設を必要こせざるを覺知するに至るこ。吾人内地より朝鮮に移住し來れるものも、亦同樣の感想、同樣の了解を經過さゞるはなし。此の尊重すべき道德的習俗は、朝鮮人をして舊時代の惡政の下に、辛くも其の命脈を保維せしめたる所以のものにして、之なくんば早く既に其國の崩散離潰を見たりしなるべし。朝鮮に於ける此の美はしき慣習を飽まで之を保存し、更に之に向上の精神を與へ、之を國家の上に伸べ、之を社會の上に施すこきは、優秀なる民性を發成し得べく、而も其の出發點の大和民族こ其揆を一にするを以て、融合同化して、立派なる帝國臣民たらんこミ、吾人之を斷じて憚らず。此點に就いては施政者、教育家、政論家は細密の注意を爲し、以て將來を圖る所なかるべからず、たまく天長節の佳辰に遇ひ、感ずる所ありて之を述ぶ。

奉祝天長節

條約履行疑問
獨逸軍隊編成

現時の獨逸軍隊は次の諸隊より成る即ち(イ)帝國軍(正規軍)(ロ)各所の編成に屬するもの卽ち舊軍隊志願兵軍、住民防禦軍、憲兵隊、警察隊(戰爭間特に正規軍の豫備こして使用し得るもの)にして帝國軍は千九百十九年三月六日の法律に依り十八個旅團即ち總計十五萬八千なりしが現在にては四十二個旅團即ち總計四十一萬二千八百を有せり

各所の編成 に關するもの▲内舊軍隊は六月五日を以て解散を終る可き筈なりしも猶多數の部隊殘存せり、志願兵軍は解散後帝國軍に編入さる可き筈なるも今猶懸らざるもの多し住民防禦軍は内務大臣に直屬するものなれごも實際上は軍事敎育を受け堅實なる編成を有す憲兵隊は人員大に増加されたるも勅令に依れば武力を形成せず伯林警察隊は軍事的編成を有するものにて新に警察隊に増加されたる者なるが以上の特別編成に屬する軍隊總人員は約四十萬除に達し之に帝國軍の四十一萬二千八百を加算する時は獨逸陸軍の現在人員は

實に八十萬 を越ゆ而して同國徴兵の總人員は八十萬にして兵卒及幹部は主こして舊軍隊の現役及豫備將校なるが其外帝國軍及び其他の編成の兵力の爲に廣く大學生を募集し又俘虜の歸來せる者をも採用せり、政府は公表したる法律に依り多數の將校を解除せる一面に於て陸軍省秘密令を以て學生中より將校を募集しつゝあり軍事豫備教育は中學に於て十七歳以上の學生に對して之を行ひ居れるが敎育を受け居れる者頗る多し、歩兵の特別兵器例せば飛行機の如きに對しては

新訓令發布 せられ火砲の改造は依然こして繼續中なり帝國軍混成旅團砲兵を野戰に使用し得る如く努力すると共に郵便飛行機を採用し警察隊亦之を有す、軍隊の精神狀態に就ては舊軍隊の精神復活しつゝあるが政府亦之を獎勵し殊に舊將校團は旺盛なる義務心を以て昔日の如く獨逸軍隊をして世界の模範たらしめむこミに努めつゝあり陸軍大臣ノスケ氏は帝政復辟を方針こする獨逸將校團の組織されたるに對しては之を默認せしに拘らず獨逸共和

將校團成立 の際には其成立發表の日に於て直ちに軍隊内に政治的色彩を見るは許す可らざることなりこ宣言せり軍事官憲は又徹頭徹尾兵力を穩健ならしめんこし學校軍隊間の連絡は總て書類に依ることなく總て口頭を以てせり、要するに獨逸政府は聯合國を欺いて强大なる軍隊即ち尠くも百萬の兵力を養成して舊軍隊精神鼓吹に努めつゝあるが如し以上記述する所に依り獨逸政府は六十萬乃至八十萬の兵力を有する者こ言ふ可く

同政府企圖 は不明なるも平和條約の履行に依る時は獨逸陸軍の總兵員は之を十萬に減ぜざる可らざる今日斯くの如き多數の兵力を増加せるに就ては果して平和條約履行の意志ありや否やを疑はしむるものありこ雖も目下の有様に於ては聯合國側は之に對し如何こもする能はざるを以て他日條約批准の際に於て軍事監督委員の手により嚴重に之を調査處分するの外無かる可しこ

王氏の新政策
臨時議會開會

北京國會は本月末を以て會期完了の筈なりし所參衆兩院は此程院議を以て九月十日より改めて臨時議會を開會するに決せり北京國會は既に豫算案の審議中政府案に對し一億五千萬元の大削減を加へ議事終了せるにも拘らず僅々九日間休會するのみにて臨時議會の名の下に引續き開會せんこするに就ては他に重大なる理由あり安福倶樂部首領王揖唐の新政策即ち之なり頃日來徐樹錚氏の北京邊防使任命、王揖唐氏の和平會議總代表任命並に靳雲鵬氏の代理國務總理留任は事實上段派の復活を意味するものなるを以て此際王揖唐氏の新政策は畢竟段派の政策其のものこ見るを至當こす

王氏新政策 王揖唐氏は從來北京新國會維持論者なりしも炯眼なる彼は今後和平會議を經て南北統一を實現せんが爲めには先づ北京の新國會、廣東の舊國會を同時に解散するの外無きを覺り茲に解散の一事避く可らずこせば此際安福倶樂部擁護の爲め別に積極的の政策を取るの要ありこなし遂に意を決して自ら和平會議總代表こして局に立つの一事を決諾し和平會議の決定に從ひ將來消滅せらるべき南北聯合議會を通じ安福倶樂部に新生命を與へん事を畫策せりこ信ずべき理由あり

形勢を觀望 左れご新國會の解散は將來和平會議に於ける北方唯一無二の讓歩なり此の點より見て和平會議再開迄は新國會は何こしても繼續開會の要ある事、南方側が資益なき舊國會を依然廣東に開會せるこ其の理由を一にす此程安福倶樂部が既に豫算の審議を完了せる北京國會を臨時議會の名の下に繼續開會すべしこ主張し遂に兩院を動かし九月十日開會こ決定するに至らしめし原因實に茲に存す只非し和議開會に付岑春煊氏陸榮廷氏等南方領袖は之を熱望せるも舊國民黨派は今尚王揖唐氏の北方總代表任命に反對しつゝあり又一方外交問題に就ても講和調印問題は當分米國政界の推移を觀望する要ありこ思惟せらるゝものの如く旁王揖唐氏は未だ自ら上海に赴き南方總代表に對し和平會議開會を督促するの運びに至らざる次第なり尚如上王揖唐氏等段派の對南方新政策其緒に就く迄には(第一)段派ご默契ありこ信ぜらるゝ陸榮廷氏以下所謂西南實力派の援助如何(第二)廣東に於ける舊國會議員等今後の態度如何等に依り幾多の曲折を生ずべきは勿論なるべしこ

五色饅頭
劍花坊

也有の長篇の一節は、前に擧げた、こゝに少しく短篇を擧げて見やう。

蟬 引

三伏の日ざかりの暑さにたへがたくて 蟬あらし松きらばやこ思ふ さロすさびし日數も程無く立かはりて、やゝ秋風に其聲のへり行くほごさすが哀れにおもひかへして

死のこれ一ッ許りは秋の蟬

俳句はさほご感服するほごでも無いけれごも其俳文の妙に、讀者を陶醉させて仕舞ふのである。

蝸牛辨頌

梢による物は風のおそれあり、土にかくるゝものは網のうれひ有り、かの蓮胤が車二つに積むこいひしも、猶此の物の安きには如かず、あるにはこれにならふものか

巣でもなく穴にもあらず蝸牛

文飾をしない荒削りのやうなところに、甚だしい技巧がある、其俳句がいやに理窟臭くなり、大いに詩趣を殺ぐ感じのするのは、也有が文章家で有り詩人では無い證據かも知れない。

日報柳壇
劍花坊選

笠二浦 玉葉

大概にしろこ刑事は縄を廻し

大概はわかつた顔で横に讀み

評、横に讀みで新聞が盡されてある、川柳を作る者はこのコツを忘れてはならない

大概で濟ませば濟む此始末

生返事して大概はきかぬなり

評、名吟こまではいかないが、い柳味はある

木浦 笠坊

大概に名が賣れたので支那賑ひ 輕

次石門老兄書閣新築落成韻 韓昌洙

書閣看曉結構新。居然泉石作閒民。風花雪月松間逕。蒲澗應無一點塵。

又次 斷飲歌

石門處士清且高。一牛尙友千古前。琴書泉石寄幽趣。置星常對南山巔。先生少日性愛酒。日々卿盃望青天。良辰美景花月下。勝々佳朋恣醉遊。聊共劉伶欣頌德。何如蘇晋愛逃禪。一朝幡然覺前非。斷飲能令沈痾痊。斷飲高歌儀現傑。顏々還似凌雲仙。玉川清風動兩腋。高臥東軒當酒筵。錦心繡肚發虹彩。洞源通絶塵寰。三十年來如水淡。披襟氏契無相愆。晩荷高情更纏綿。寸莛擡鐘終有媿。自喩雖期山聳肩。頭襲從此須努力。况我與君非壯年。室邇人遐還相望。一片氷心秋月懸。

奉祝

營業種目
玉絲製造
蠶繭賣買
蠶種製造
桑苗育成
蠶具及農具

京城府漢江通六番地
朝鮮蠶絲株式會社
電話長五五番
振替京城三八九二

サッポロビール
大日本麥酒株式會社
京城出張所

懸賞付卷煙草名稱及意匠募集

募題
一、兩切卷煙草十本入(社製品グローブ形)一種
右名稱及意匠圖案
一、締切日 大正八年九月三十日受付迄
一、答題送り先 朝鮮煙草株式會社研究部宛
一、撰擇方法 京城日報及朝鮮新聞社員立會ノ上嚴密ナル撰擇ヲ行ヒ新聞紙上ヲ以テ發表ス
一、當撰者ニハ左ノ懸賞金品ヲ提供ス
一等 金五拾圓也
二等 金拾五圓也
三等 金拾圓也
四等 金五圓也
五等以下十等迄 花扇叉は「グローブ」壹ボール宛

京城義州通一丁目
朝鮮煙草株式會社

笹山章著 ウツボ屋書店發行
新案獨學 イロハ辭典付
鮮語自在
ポケット形二百頁 定價五十錢 送料貳錢
發行十ヶ月余ニシテ版ヲ重ヌル事既ニ四回、以ツテ本書ガ如何ニ其内容ノ充實セルカヲ究知スルニ足ラン……萬人必携の良書ハ是!
發賣元 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

コレラ猖獗を極むこれか防止の方法は
朝鮮總督府法定消毒劑の
アイゼルを以て殺菌すること急務なり

◎アイゼルは消毒劑中最も强大なる殺菌力を有すると同時に防臭及殺虫の作用を爲し而かも無毒にして廉價なる理想の特長を有し其千倍に稀釋したる溶液は直ちにコレラ菌を殺滅せしむるが故に總ての消毒は勿論傳染の媒介をなす蠅を驅除すへく常に不潔の場所に撒布せらるべし
◎本品は各地の信用ある藥店にて販賣す◎說明書御入用の方には送呈す

京城鐘路 宜壽堂 井上藥品部

天長節御祝典

三十一日天長節に就き九條掌典長以下各係員は午前八時出仕賢所皇靈殿神殿の裝飾を奉仕して祝詞を奏し夫れより大皇陛下御代拜玉串を捧げ拜禮を爲し宮內勅任官總代仙石事務官宮內奏任官總代東久世事務官拜禮し午前十時式を終らせらるゝ由承る(東京特電)

維也納の慘狀

食糧缺乏＝餓死者半日に十名

墺都維也納の饑饉の慘狀は眞に言語に絕し假令ば嬰兒の襁褓に使用すべき布片缺乏の爲紙片を使用せるが如き他を窺知し得べく途上食を求むる泣喚聞くに堪へず遂に食を得ずして餓死するもの少からず轉た面を反けしむウ市には小兒養育院あるが戰前僅に六十名內外を收容したるに昨今は實に百名以上に達し寢室に蠢動する小兒は身體虛弱にして惡疫に罹り或は畸形となり營養不良の爲年齡と成育と相當せず一見八歲の男兒の年齡を問へば十二歲と答へ、七歲位の女子は十五歲と答へ佝僂病的畸形を呈し半日の死者十名以上を普通とす 斯の如き有樣なれば街路外人の影を認むるや小兒を伴なへる母親の我等をして餓死せしむる勿れ牛乳を與へよと叫び小兒等は三四歲となるも牛乳なるものを見たることなく政府は辛うじて一歲の嬰兒にのみ一人一日百二十五瓦七勺の牛乳を給し居れり又維也納に於ては貧困者保護局なるものありこれに收容するものは餓死することなき確實なりと當局にて認定したるものに限らる(倫敦電報)

和蘭前獨帝引渡拒絕

アムステルダムよりの報に曰く信賴すべき筋より得たる報道に依れば和蘭政府は前獨帝を追放することも又彼れを引渡すことも拒絕するならんとあり(倫敦電報)

白和衝突經緯

新國境問題＝和蘭公使報告

倫敦來電＝一千八百三十九倫敦條約改訂に關する講和會議委員會に於て白耳義和蘭委員間に激烈なる意見の衝突を來し白耳義委員は巴里を退去してブラッセルに歸るべしとの決議をなし倫國外務省の態度により巴里に滯在の倫敦駐箚和蘭公使の報告を待つこと、なれり右報告中和蘭公使は白耳義エスマー河に關する和蘭の權利を常に侵害せるを攻擊し和蘭はエスマー河をして白耳義和蘭兩國間の國境たらしむる能はざる旨を指摘し現在の國境は歷史的發展の結果なれば和蘭の權利として現在の境界線を維持すべし白耳義にして新國境確定を强要せんとせば和蘭は之を以て戰爭の原因ともなすべく言明せり(シドニー電報)

和蘭氣勢緊張

海牙來電＝國境改定問題にて目下和蘭國內には白耳義反對の氣勢漸次昂まりつゝあるが和蘭政府は博覽會場改築の爲曩に白耳義ブラッセルに送附せし和蘭貨物を送還せん事を命令せり(桑港電報)

倫敦條約發表說

伊國政府は近く倫敦條約を發表す可し(巴里電報)

米大統領の聲明

ウイルソン大統領は二十五日上院に於て飽く迄講和條約に對する修正案を固執せば米國は結局單獨講和の外なく其結果は國際聯盟外に立つこと、ならむと語れり(華盛頓特電)

民主黨領袖聲明

民主黨領袖ヒッチコック氏はウイルソン氏に告げて曰く講和條約は恐らく二週間以內に外交委員會の手を離るべしと尙ほ同氏はウ氏が上院に於て原文の字句變更を行ふことに依然反對し居れる旨聲明せり(華盛頓電報)

鐵道罷業蔓延

鐵道使用人同盟罷業は加州全部に蔓延し桑港、ロスアンゼルスより汽車の出發無きに至れり(桑港電報)

過派軍作戰變更

チェック側に達したる情報によれば正面に於ける過激派軍の主力部隊は馬首を東方に轉じてデニキン軍を擊破することに決せりと之につき軍事專門家は過激派軍が今一息にてオムスク占領といふ處まで西伯利軍を壓迫しながら南方に主力を向けたるは其作戰拙劣極まれりと評せり(哈爾賓電報)

過激派現在兵力

倫敦發二十八日某所著電に據れば露國過激派の兵數は內地に於て其數七十三萬餘を有し戰線にある現在兵員は四十八萬あり即ち北露戰線一軍三萬九千、西露方面に三軍十六萬七千、南部に六軍十四萬六千東露戰線に五軍三千あり(東京特電)

西藏交涉中止

西藏問題に對する英支兩國の主張に多大の懸隔あり遂に交涉を中止せり(北京電報)

米カムチヤツカ租借無根

オムスク政府より我政府に對する回答によれば米國のカムチヤツカ租借說は全然無根なりと(東京電報)

高松宮海軍兵學校御入學

高松宮殿下には明年九月より海軍兵學校に入學遊ばさる、ことに決定し其旨宮相より正式に加藤海相に通達ありたり(東京特電)

王世子御歸京

御殿場地方御出張中なりし李王世子殿下は三十日午前十一時東京驛著御歸京相成たり(東京特電)

國境確定委員

九月九日出發

近く巴里に開かるゝ國境確定委員會には我國より司法省參事官宮島正太郎、農商務省臨時產業調查局事務官高橋武美、文部書記官栗屋謙、大藏省參事官關場偵次、內務書記官田澤義鋪諸氏を派遣することに內定し一行は九月九日出帆の熱田丸にて出發すべし(東京特電)

外務次官後任

幣原外務次官駐米大使に榮轉に就き後任次官は本多公使に交涉あり公使は外務省內の改革及び事務刷新を條件として就任を諾せるが當局は考慮中なりと若し本多氏就任せざれば落合氏か坂田西班牙公使の內何れにか決すべし(東京特電)

美濃部總裁

美濃部鮮銀總裁は二日發歸任すべし(東京特電)

釜山の總督一行歡迎

齋藤總督水野政務總監一行二十八名は愈々來る九月一日釜山著大池旅館に一泊し二日朝特別臨時列車にて京城赴任に決したるを以て釜山官民は一行の歡迎會を催すべく民間代表者として大...

京城の出迎列次

總督一行の著城は二日午後五時

總督一行が九月二日午後五時南大門驛著入城の際其筋に於て定めたる出迎へ列次等左の如し

一、京城、龍山は當日各戶に國旗を揭揚すること
二、南大門出迎＝本府及所屬官署高等官は出迎の事
判任官の出迎は隨意のこと
又は羽織袴にて差支なきこと
三、學校生徒は道側に堵列の事
四、赤十字社員、愛國婦人會員は出迎の事
五、軍隊は堵列のこと
六、南大門驛プラットホームに建札を爲し出迎者の位置を定むること
七、驛頭より總督官邸迄の列次左の如し
儀仗
第一自動車 本町署長警衛
第二自動車 總督秘書官副官
第三自動車 政務總監秘書官
第四自動車 國分法務局長、松永京畿道知事
第五自動車 新任各局長
第六自動車 總督及政務總監從者
八、政務總監及各局部長は總督に續いて一列總督邸に入る事
九、總督邸出迎者は郡山會計課長とす
十、官邸警戒は警部、警部補及巡查之に當る

殖銀の貯蓄預金開始(下)

櫻井殖產銀行理事談

大形の通帳は表紙中央に同じく牡丹の花を圖案的に配し寶蓋しの模樣をした列痕線のされ又極めて優雅なもので主に男子用として調製したもので御希望に依り兩者の何れにでも交附することになつて居る

第三の特色 は預主に可成手數を脫れ得る樣に仕組んだ點にある、普通預金引出の場合には、預主が受領證を書くことになつて居るが當行の貯蓄預金では通帳と之に押捺してある印章とを持參すれば凡ての手數は行員に於て取運ぶが爲に預主には何等の手數を要せず極めて便利に引出が出來る、次には利子の計算方に特色がある、郵便貯金は勿論一般の貯蓄銀行にては預入及引出の月には無利子を普通とするが當行の貯金は半月計算にて毎月十五日前に預くれば其月は下半月分の利子を附し又十六日後の引出には上半月分の利息を附する事になつて居る、利率は

小口當座の 利子と大差なく年四分八厘で十錢以上の預金には凡て利子が附せらるゝ譯である、個人貯金は概要右の如くであるが、要するに貯金は零細の民資を吸收するものなれば從つて貯金者は最も貯蓄思想に乏しき階級者なるが故に可成彼等の貯蓄心を刺戟し其の利用に便ならしむるの仕組を取りたるに外ならないのである、次に團體貯金に就て之を述べん官公署、會社、工場、商店等に勤務する者二十人以上一團となつて同時に定額の貯金を爲す場合は團體貯金として特殊の便宜を供與するものにして、利率も個人貯金と異なり五分三厘の利息を附することになつてゐる

行員が出張 して預金を受入るゝ點も亦團體貯金は前に述べた如く會社工場等の團體員が同時に定額の貯金を爲すものなれば給料支給の際取纏め人が必要であるから豫め貯金額を控除し人別預金額の內譯書を作り置けば所定の期日に行員を派出し預金の取扱を爲すものであるから隨つて取扱人に手數料を呈し得る途も開けて居る其の他團體貯金は又當該團體員に於て相互に一定の規約を設け毎月定額の預金を爲すこと及其の引出は可成之を制限し天災其他特別の場合の外代表者に於て之を認めざることが條件となつてゐる

預主に交附 する通帳は簡便淸楚なる折疊式通帳を特製使用することなども個人貯金と相違の點である殖產銀行の貯蓄業務開始は我が朝鮮に於ける貯蓄機關の完成に向ひ半頭更に一歩を進め鮮內民資の蓄積に多少の貢獻あるべきを疑はずと雖も當行は之を以て足れりとせず將來引續き多數鮮人の嗜好に投合する特殊の貯金種類を設け、或は其の蓄資の途を開き更に簡易なる貯蓄は諸般の積極的勸獎の方法を講じ鮮內民衆の貯蓄思想開發の爲めには多少の犧牲も敢て之を辭せず進んで其の任に膺り健實なる各般の施設に向つて徐ろに邁進せんことを期して居るのである、幸ひに我が

朝鮮に於て は當局者の施設宜を得昔日の秕政の跡は既に求めんとして得べからず諸種の產業も漸く勃興の機運に向ひ鮮人の收得も昔時に比し多大の增加を來したるは明らかな事實である、然し近時物價騰貴して著しく奢侈輕佻の風あるは頗る遺憾とする處である、此の弊風を打破し貯蓄の美風を涵養するは容易な業でない、此の際官民協力一致して我が朝鮮の堅實なる發達を期する必要があると思ふ我が殖產銀行も及ばずながら此の方面に充分の努力を吝まない次第である。

鮮鐵滯貨狀況

朝鮮鐵道に於ける最近貨物輸送狀態は幾分弛緩の感なき能はず京管局は夙に滯貨の激增を慮り各線共積極的に輸送力を增大し滯貨の一掃に努めたる結果一時七萬噸の滯貨を減少せしめたるが最近朝鮮に於る商取引旺盛に依る貨物輸送の增加と京管局輸送方針の軟弱は遂に昨今九萬噸の滯貨を算するに至らしめたり滯貨の重なるものは京義線に於る木材穀物及び仁川に於る土壤等なるが此際京管局の積極輸送を望む云々と某實業家は語り居れり

植物檢查規定

朝鮮に移入する

二十七日農商務省告示を以て內地より朝鮮に移入の栽植又は接木用の果樹及櫻樹に就ては其發送に際し植物檢查所、神戶、門司、長崎、四日市、敦賀の各植物檢查所支所並出張所に於て病蟲害の有無を檢查する事となれるが其檢查規定の要領如左

第一條 朝鮮に植物を移出せんとするものは本規定に依り檢査を受くる事を得
第二條 檢査は左の植物に付之を行ふ
植栽又は接木用の果樹及櫻樹並に其の枝幹及根
第三條 檢査を行ふ期間は每年四月一日より翌年二月十五日迄とす但し其の他の期間と雖檢査を行ふことあるべし
第四條 檢査は左の植物檢查官署に於て之を行ふ但し檢查すべき植物多量にして病菌害蟲驅除に要する設備完全なる場合に於ては其の所在地に就き檢査を行ふことあるべし
一、植物檢查所
二、神戶、門司、長崎、四日市及敦賀植物檢查所支所
三、大阪及下關各植物檢查所支所出張所
第五條 檢査を受けんとする者は其の植物發送の日より少くとも十日前に第一號樣式に準じたる申請書を植物檢查官署に提出すべし但其の後の申請と雖受理することあるべし
前項の申請を爲したる者は植物檢查官署の指揮に從ひ其の植物を搬入又搬出すべし
第六條 植物檢查の結果病菌又は害蟲附着せずと認めたるものに付ては第二號樣式の檢查證を交付す
第七條 植物檢查官署は檢査の爲めに生じたる損害に付ては其の責に任ぜず
第八條 植物檢查官吏の指揮に從はず又は不正の行爲を爲したる者に對しては檢査を拒絕し又は證明を取消すことあるべし

殖銀應募成績

二十八日締切りたる朝鮮殖產銀行第二回債券應募成績を聞くに內地一千二十三萬八千三百圓朝鮮十六萬四千九百圓滿州二千四百圓計一千四十萬五千六百圓なるが同行にては出來得る限り小口希望者に割當る方針のため大口希望者には相談の上斷りたる分尠からず故に實際の應募成績は千四五百萬圓に達したる模樣にて尙朝鮮へは殆んど割當つることゝなる可しと

旱魃救濟と殖銀

殖銀に於ては目下朝鮮中北部の旱魃區域調查のため行員を出張せしめ居れるが近く調查終了の上具體的の救濟方法を講ずるに至る可しと

組合吏員增給

京城學校組合にては卅日の同組合會議に第三號として吏員以下の增給案を提出せるが其內容は臨時手當臨時增給は給料月額百圓未滿(加俸を含む)の者に限り大正六年八月二十四日現在の有給吏員以下及び傭人に限り增給したりと

新聞代價改正

新聞用紙其他の物價益々騰貴ニ付今般兩社協議の上來九月一日より新聞代金左記之通り改定致候間此段愛讀者各位へ謹告仕候也

大正八年八月廿七日

京城日報社
朝鮮新聞社

每號壹部 金四錢
壹ケ月定價 金九拾錢
郵稅壹ケ月 金拾五錢

鮮滿片々

鮮人銀行の計畫

馬山昌原固城等各地鮮人富豪の發議にて資本金二百萬圓の銀行を馬山に設立の議は進行し已に發起人に於て百五十萬圓の株式申込了したるを以て近日其筋に正式に出願する筈なり許可の上は本店を馬山に置き關係各地へ支店出張所を設置する計畫なりと(馬山)

元山大豆相場

元山に於ける大豆相場は原產地の品拂底なると旱害の爲め被害甚だしく來る新大豆の出廻り不足を見越し相場は逐日騰貴を示し永興大豆三等二十四圓見當唱へにて尙騰貴の見込なり(元山)

咸興聯隊演習地

咸興第七十四聯隊演習地として先般來選定中なりしが今回愈々定平郡新上里附近を選定し數日前軍隊側より數萬町步の土地購買員を特派し目下買收中なるが同地は咸興を距る四五里の地點にあり凡ての點に於て演習地として最も適當なりと(咸興)

馬山と公會堂

馬山市民は宴會以外に市民の集合に必要なる公會堂の急設を感じ此際馬山の現在として宏壯なる家屋を建設するは不可能なるも當分は平家建にて約百人位を收容し得るものとし經費は五六十圓にて目的達成したしとは同地賀田三郎氏の意見也(馬山)

立神丸復航

朝鮮郵船會社の經營に係る擴張航路は曩に立神丸修繕の爲め平安丸航行し居りしが立神丸今年修繕完了內地より三十日元山港著の筈なるを以て平安丸は同船と交代の上阪神航路に就航すべし(元山)

沃溝郡繩叺入札

沃溝繩叺組合にては三十日正午買入札を執行せり(群山)

全州小學校增築

全州公立小學校增築に就ては學校組合會にて議決し既に其筋に認可申請中なるが認可あり建築費に就て充分調査の要あるを以て今迄遲延したるも最早調査終了認可を得次第建築に著手する豫定なりと(全州)

忠南輕鐵と開會

忠南輕鐵沿線有志大會開會に就ては群山側有志は何れも許可されたる上沿線有志の態度を決するも遲からずとの意見なりしが今回本府に於ける高官の異動の爲め到底本月中に許可の指令に接する能はざる事情あるより一般沿線在留民の意見を纏め置く必要を生じ愈々最近溫井里にて大會を開くべし(群山)

林野查定公示

木浦府及務安郡の林野整理事業は既に一切の手續を完了せるを以て全羅南道では近く兩所の林野查定圖の公示を爲すべく關係者は期間內に閱覽を需め具體的の權利の確保を期すべく依て各自權利を失ふこと、なるべし(木浦)

青田賣激減

蠶期に行はる、滿州特產物靑田買付は依然たる銀高の爲め現物との鞘比較的少き上に一般賣家が昨年賣作の影響を受け靑田賣を爲すもの著しく減少せり(大連)

滿鮮一帶指定地

連絡船下關にて四十八時間隔離

今回滿鮮地方一帶を虎疫流行地に指定せられ關釜連絡航路も右の指定地區域內に編入せられ釜山よりの連絡船は下關入港に際し先づ港外に於て二十四時間以上四十八時間隔離乘客並に船員の豫防檢疫を行ふ事となりたるが九月一日朝釜山著同夕發は博愛丸、二日朝釜山著同夕發は新羅丸(齋藤新總督搭乘決定)、二日朝釜山著同夕發は對馬丸となり每夜釜山著同夕發の分は當分取消さる、こと、なれり又釜山に於て呼ばるゝ連絡船乘客に對し海港檢疫を行ふ外福岡縣方面より入港の船舶に對し夫々檢疫を行ふ事となれるが三十日夜釜山發の高麗丸より實施せらる、こと、なれり(釜山特電)

人事消息

▲永野咸南第三部長 三十一日午前十一時五十分南大門發列車にて赴任すべし
▲河內山樂三氏(總督府財務局長) 三十日夜釜山上陸同十一時發北行歸城(釜山特電)
▲小川鄉太郎氏(代議士) 卅日夜釜山上陸同十一時發北行(釜山特電)
▲池田庄五郎氏(朝鮮商業銀行營業課長) 岳父死去の爲め歸省中の處廿九日夜歸城

赤池局長著期

新任總督府內務局長赤池濃氏は一日午前九時二十分發列車にて著任の旨其筋に入電ありたり

記者團臨時會

京城記者團にては三十一日正午より朝鮮ホテルに於て臨時會を開催し新入會申込者諸社の件各新聞社代表者よりの提案にかゝる全鮮記者大會開會の件其他に就き協議し終つて午餐を共にし散會すべしと因に記者團當番幹事は任期滿了に付き新幹事朝鮮新聞京城通信兩者に事務引繼ぎを了したりと

定例休刊

今三十一日は天長節に付同日發行の夕刊並に翌一日發行の朝刊は定例休刊す但しその間重要事件突發の際は號外を以て報道すべし

鳥瞰錄

來月二日着任の齋藤新總督の名は『みのる』と讀み又は『まこと』とも讀み種々だが『まこと』の方が正しいさうな▲此の『まこと』なる名は後に改名したものであつて元の名は留五郎と云つて居たさうな▲總督がまだ海軍少尉時代に同じく齋藤留五郎と云ふ水兵があつて▲其れが亂暴者で時々罰を食ふので總督も迷惑をした事がある▲其處で流石の溫厚な總督も閉口して今の『實』と改名した相な▲寺內伯なども總督時代には正毅で通つたが彼れは全く間違つて居る▲或人は正毅とも云つて居たが實は正毅である一體人の名前をうそ讀をするのは不都合である呼ばれるものも亦心持の好いものではない▲長谷川總督なども好道であるのに好道で通つて居た▲其れは鳥渡氣を付けて居るとすぐ分るものだと某氏は語つて居た▲或人は大隈侯に在上海の排日宣敎師連が支那や朝鮮に於ける跡方もなき虛言をさも仰々しく撒布して中傷するのは以ての外の事だと話すと▲隈侯『下に何かの支那の本に上軍下軍舟を爭ひ水中指を掬すと言ふ意味が書いてあるんである▲支那の形容詞は大抵こんなものであるんである上海の宣敎師等も其れを學んだのであるんであるは大笑ひ

支局開設

九月一日より全北全州に支局を開設し左記の者業務に從事致可く候也

八月三十一日

支局長 山本悅藏
記者 西本實

京城日報社

確實は 弊店の生命にして信條なれば取引御安心を乞ふ
材木商 城山組 下關市岬之町 電話長一二〇九番 振替下關五五一番

最新刊
書名 著者 定價 送料
△提唱碧巖集 中原鄧州著 上卷三圓五十錢 中卷四圓 中卷出來 送料各十八錢
家庭園藝十二ケ月 千葉曉香著 一、三〇 〇八
萬葉集 以後の卷 秋冬の卷 各、九五 〇八
△法華要義 清水龍山著 定價四圓九十錢 送料十六錢
日本史傳文選 上 幸田露伴 三、二〇 〇六
自然界と人間界 木戶忠太郎 一、〇〇 〇六
少年野球術 同研究會 九〇 〇四
石上露元助 洗濯へ易く興味ある 定價八十錢 送料六
△圖の算術
潛潮小說集 一、八〇 〇八
實物史的の立場から 堺 一、五〇 〇六
◎近刊豫告 十字屋編 最新朝鮮大地圖 定價三圓 特價二圓五十錢 御申込順に出來次第御送本申上候
京城本町 日韓書房

大阪屋號

京日案內
普通 一回前金七十錢 番外 一回前金壹圓
▲申込後中途掲載中止は料金不返戾
▲六回以上の申込は特に割引の事
▲照會は返信附に非ざれば回答せず

內鮮人 高級社員招聘 富士生命監督社員並外務員希望者は履歷書送れ追て面會日通知す 京城大和町二ノ一一 永井
店員入用 十五六歲より十八歲位迄本人來談あれ 京城本町二丁目一一 電話一四五番 宮林泰次商店
御袴專門 男女學生御袴各種取揃有之候御注文に應じ迅速可成丁寧に調進可仕候 京城本町四丁目 山崎袴專門店
十三、四才のおちよぼ入用 市內に保證人を要す 新町 清月
店員入用 希望者直接面談 京城本町二ノ六四 電一〇八五 友田米店
鮮語科 英語科 新學期九月初旬 其他朝鮮語三ケ月修業 太平町一 京日西向 京城靑年會
骨つぎ專門 京城本町四ノ三一 小柳治療所
質屋讓度し 京城市內 西四軒町二ノ六〇 松井浩平
帳場入用 希望者は直接本人來談 京城新町 清月樓
女中入用 高給にて雇入れたし 京城黃金町一丁目 電話一七四八 日米商店
內鮮人配達人募集 希望者本人來談あれ 太平通 朝鮮公論社

奉祝

京城醫師會

岩田末彦 池田季雄 池上要吉 石川淳夫 今村豐八 今本義胤 一色善太郎 岩崎懷 荻原長藏 二宮亮吉 本田建義 戶川錦子 扇田豐 和田八千穗 金井豐七 片山信夫 川崎朋子 垣田精一 高井貞治 田中丸治平 多々見五郎 津田雅人 中村健吉 中島貞信 村上龍藏 宇野宗一 內田銈藏
上野[illegible] 工藤[illegible] 山口[illegible] 山田[illegible] 山田[illegible] 矢岡[illegible] 松下[illegible] 松本[illegible] 古城[illegible] 古城[illegible] 小林千[illegible] 小山亨 江頭富雄 安東貞一郎 安部脩三 佐々木杏造 佐藤伊藏 酒井一郎 衣笠茂 宮地高牧 島崎龍一 久枝秀喜 森定吉 瀬戶潔 杉本砂一 鈴木茂

乳兒の健康は補乳にあり
品質優秀の定評ある
ホーオーミルクを
御愛用あれ
發賣元 株式會社 明治屋
特約店 京城南大門市場 辻本商店

悲しき下棺の式
炬火照り輝やく壽鳳山の夜 返虞の列は今日午後歸著

三十日午前十一時永訣式を終り訓練院を發引したる故子爵趙重應氏の靈輿は既報の如き葬列の順序を以て東大門を經て稻田を渡る風に悩み雨にぬれたる松と楊柳の

並木街道 を眞直に進み淸涼里に着せしは正午、三十分の休憩を算し午後一時三十分、龍頭洞にて晝飯を喫す、折柄朝來の雨も歇みて薄雲の絶ね間より一條二條の日の光力なく銘旌靈輿を照せば銅も赤も白も黄も、雇れたる人々の喪章附けたる姿にも幾分の生氣通ひつ一時間の後此地を發し

仁章里に 午後四時著同五時三十分素味店を發軔し墓地と定められたる楊州郡義金面壽鳳山に着せしは午後七時灰暗き春色漂ふ頃なりき、直に祭壇成殯を營み同夜十時啓殯の式を施行し、苔青き森の

木下闇を 漆黑の炬火の照すが中に愈下棺の式は夜十二時を以て恙なく執行せられたり今や故人の亡き魂ばかりかは空蟬の遺骸にまでも離れ行くなる哀愁に喪主は云はずも送り來し諸人の袖は

涙の雨に ぬれて一世の偉人故趙重應子の靈は永久に此地の土深く宿り了んぬ、右終祭は今三十一日午前二時、祠後土祭は同二時三十分執行されたるが引續き午前十時初虞を執行され正午返虞の列を整へて喪主大鎬氏以下一同皆き故人の墳墓に離情を告げて今三十一日午後永樂町本邸に歸着の筈なり

溫突內の養蠶
朝鮮の民度に適應して居る 福島の蠶業學校敎諭は語る

二十八日入城不知火に投宿中の福島縣立蠶業學校敎諭丞荒雄氏は語つて曰く『釜山に上陸したのは本月二十二日沿道各地を視察して當地へ參りましたが途中慶州の果樹園水原の勸業模範場等も見ました果樹の栽培も無論有望とは認めますが朝鮮の土地には

桑の栽培 が適して居るやうに見受けました最初內地を出發ます時豫想したのとは違ひ桑樹の生育の充分なのと桑葉の見事なのとには驚いた位です、これだけの桑があるなら養蠶が充分にやれます、朝鮮の當局で相當奬勵の方法を講じ

漸次一般 に普及の傾向があるやうですが朝鮮に於ける蠶業は將來多大の曙光が認められます、繭も却々優等品が採れます尤も溫突家屋で飼育するのも決して惡い方法ではありませんが蠶を養ふに適度の溫度を必要とするのは言ふ迄もない事です溫突內で

蠶と人間 と同じ樣に生育するのも面白い事で蠶業上の智識の幼稚な農民達には寧ろ斯う云ふ方法でやらせる方が却て自然的で可いかも知れません唯蠶種を除る事なぞの注意が充分に届くか什麼かと疑はれます云々』

田舍道　霧の中浮き出て赤き𦊆かな　紫明

新總督一行と釜山
歡迎準備成る

齋藤新總督、水野新政務總監一行は九月一日朝愈々釜山上陸につき廿八日午前釜山府樓上に於て府尹、稅關長其他主なる內鮮官民會合歡迎方法を打ち合せたるが其結果左の如し

▲歡迎門を驛前棧橋通鳴戶旅館角より南町の個所に建設する事▲當日は新總督一行到着と同時に煙火數十發を打揚げる事又二日午前京城に向け出發の際も同樣而して兩日は成可く釜山港官民有志は迎送を盛んにする事▲三十日夜大池、迫間、阪田氏の內二、三氏は釜山市民の代表として總督一行を下關迄出迎ふる事▲總督一行の都合を伺ひ一日夜官民有志一同は龍頭山公園に案內し大歡迎會を催す事（[illegible]）

想へ壯觀
新總督の京城入 特に禮砲式を賜はる

陸軍省發表＝新朝鮮總督齋藤男は軍隊の統率權を有せざるを以て儀仗送迎等陸軍儀式の儀禮を受くべきものに非ざるも特に齋藤總督赴任の際に限り思召を以て元帥大將の禮に倣ひ特に軍隊の堵列儀仗伺候並に禮砲式を行ふべき旨御沙汰有たり（東京特電）

朝鮮では現在の儘
中學生の服裝

官吏の禮服が廢止され朝鮮では總督府の服制が廢止され服裝界にも一種のデモクラシーが横溢してゐる內地では更に中學校の制服制度を廢止する相であるが京城中學校の成能敎諭は語る『內地では中學校生徒の制服廢止を實行すると云ふ事を耳にしましたが朝鮮では不可能でしやうと之は決して簡單な事ではないと思はれるので學務當局として愼重に研究して居られる事と思ふ京城中學校としては未だそんな事を考へても居ません』尙總督府の弓削學務課長は『內地で其の噂のある事は新聞で見ましたが中橋文相の談話に此問題があつたのでしやう朝鮮としては未だ考へて居ません中等學校生徒の制服は現在の儘です』と語つた

警備兵配置
各軍需品工場へ

陸軍省は工場建築物保護の爲め二十八日午後四時より同省所屬工場に左の如く哨兵を配置する事とせり

目黑將校以下二十二名▲小石川同二十四名▲王子豐島同二十一名▲板橋同二十九名▲瀧の川同十一名

右の外豫備として準士官以下十九名を準備せり（東京特電）

第三師團の凱旋は
明春雪解の頃か

西伯利各地に於て重要任務に服しつつある第三師團各部隊は遲くも來る十月中には全部凱旋の豫定であつたが其後露領黑龍州西伯利各鐵道沿線に於る過激派の勢力中々侮り難きものあるのみならず去る五月以來過激派一部の蠢動に依る鐵道事故頻々として起り多きは一日數回に亙り東淸鐵道其他の從業員同盟罷業等ありて大部隊の鐵道輸送は到底不可能の事情あれば同師團全部の歸還は或は來春雪解の頃ならんかと某消息通は語つた（東京）

砲兵工廠盟休事件解決
九月一日より復業

一時破壞の狀に陥りし王子板橋兩砲兵工廠の形勢は二十九日午後に至り稍緩和され主張の貫徹如何に拘らず九月一日より一齊出勤するに決したるが三十一日頃より出勤するに至るべし（東京特電）

死生の間に此の友情
志自岐乘組員の最期 浮揚せる木材木片を上官の爲に送り又相互に讓り合ふ 海軍省發表

海軍運送船志自岐沈沒狀態に關し海軍省の發表左の如し（東京）

一、志自岐沈沒に瀕せる際に於る志自岐乘組員の軍紀は嚴然として一絲紊れず指揮官より總員退去の令あるまで狂瀾怒濤の內に一人も守所を離れたる者なし

一、指揮官より總員退去を令し其將に終らんとする刹那突如高浪襲來する所となり乘員の大部分は海中に投込まれたるが乘員浮揚せる木材木片等を奪ふ事なく上官の爲之を送り又は相互に之を讓り合ひつつ狂瀾の內九死の間に尙ほ友情諄々として掬すべきものありたり

三、石川指揮官は總員を召集し予は三度大戰爭に當りたるが今本艦の不注意より陛下の股肱と陛下の御船を失ふは洵に國家に對し申譯なし軍人は死所を得る事大切なり予は此船と運命を共にせん乘員は予に關せず自由の行動を取れと帽を脫し懇懃部下に對し最後の訣別をなし啜涙共に下ら徐に決する所あり即ち天皇陛下並に帝國海軍の萬歲を三唱し總員に退去の命を發し最後迄自らブリッヂに止まれり艦の沈沒や乘員は極力指揮官を海上に需めたるも遂に其姿を見ざりき斯の如きは我帝國海軍々人として洵に賞揚すべき態度にして生存者一同深く追慕敬服し居れり（以下略）

萬國日曜學校大會お流れ
米國宣敎師から異議が出て

戰時中の故を以て一時延期したが愈々來年六月日本東京で擧行さる事に決した萬國日曜學校大會は日本では御免を蒙ると云ふ異議が米國內の宣敎師連から起つて日曜學校總支配人サミュルプラィス德士は日本では開かぬ米國ピッツバーグに變更する積りだと云つて居る相である理由は出席全員を收容し得るホテルがないのこよし船をホテルに代用するにしても一度位では二千五百人は泊られぬ殊に日本では基督敎に趣味がない國だからといふにある

臨海日誌
元山里見學　植物の採集

女子敎員養成所　當番生
八月十五日　金曜日（晴）

昨日の大時化の後を受けて、風は強く旅宿の窓をうつ暗い空は海水浴停止の宣告を我等に下した。徒然なこの日朝鮮部落の見學及び普通學校の參觀にと出掛けた。行く事暫時にして元山里に到る。町の樣子は特別に異つたこともない。たゞオンドルこんな窓所との間に出入口を設けて居て中々便利なやうに見た。しかしこの構へは冬季保溫の爲には餘り調法でないやうに考へらる。又板の間やオンドル等の敷物にアンペラを用ゐて居ることは京城では餘り見ない所であるやうに思ふ

朝鮮殖產銀行の支店はこの町の中にあつて殊に目立つて居た狹いがたく〳〵道を幾度かまがつて元山公立普通學校に至つた。生徒の居ない學び舍はほんとうに淋しい。校舍は小山の下にある。時しも弱い日影は一面に繁る草木の上に光をなげてゐた。岩のすぐ下に、古井戶があつて水は深くもないが冷たい氣持のよいものであつた。誰かが『こんな學校に來られるといゝのにね』こうらやましさうに云ふのもあつたが無理でもあるまい。それから敎室の參觀をして歸途についた

午後一時から海濱へ植物採集に出掛けた。時化の名殘をこめて、大きな白波がザワ〳〵と岩を呑み、岸を洗つて居て實に壯觀であつた。砂にうづくまつた海邊の小草や波に打ち上げられた藻草の間を三々伍々と採集に餘念なく、珍らしい草木を取つてうれし氣になつてほゝゑむ人もあつた

旅館に歸り暫時休息意氣を新にして措葉に取掛つた。かなり廣い板敷の間も措葉標本物に埋もつて一杯になつてしまふ。斯うして今日の仕事を終へ窓際に立つた、涼しい風が面を吹いた。ミヨは何とも云へぬ良い氣持であつた。海をたづね元山に來てもう此處に八日を暮した

群山の競馬會
參加馬匹百頭以上

群山馬車組合員發起の下に三十一日大[illegible]を下し群山驛前廣場に於て競馬大會を催すべく目下設備中なるが同組合丈けにても九十餘頭を所有し尙ほ他地方より來會すべきものを加へ百頭以上の集合を見るべく內地に於ても本競馬場裡に出入し優勝を博せるもの多き由にて前景氣盛んなり

不意に斬付く
靈光の出來事

全南靈光郡靈光面[illegible]兒玉虎藏（四七）は廿八日午前一時半頃便所に行かんとて自宅裏口の戶を開けたる刹那物蔭より一名の兇漢現はれ手にせる白刃を揮つて虎藏の後頭部深く斬り付け其儘漆黑の闇に姿を沒したり被害者は重傷なるも生命には別條なかるべく靈光警察署にては時を移さず非常線を張り犯人搜索中なるも未だ縛に就かずと

淪落女投身
高麗丸の乘客 氏名は判らぬ

三十日朝釜山に入港したる連絡船高麗丸が二十九日夜定時下關を解纜し午後十時頃六連島沖に差かゝりたる際甲板上より身を躍らして海中に投じたる一婦人乘客あり同船は

直に停船 して附近を搜索したるも遂に投身者を發見する能はず再び航行を續けたるが同船出港後間も無き折のことゝて未だ船客名簿の記入なく何れの者とも判明せざるも遺留品として下駄及び蝙蝠傘の外遺書一通あり遺書には船長及び船員一同樣へと宛名し自分は

弱き者に て兩親に死別し故鄕を出でたるものなれば宜しく賴むとの意味を認め自分の住所及び名前は記さず只『死ぬ行く身より』とあり此の言葉遣ひの工合より同人は多分山陰地方生れの者ならんと推定せられ又其の座席附近に居合せたる乘客の談に依れば同人は綠縞銘仙單衣を着し年齡

廿五六歲 と見受けられたりとの事なるが尙ほ同人が下關乘船の際旅館の客引らしき男と親しく語り頻りに別れを惜み居たるを目擊したる者もある由にて是等を綜合するに同人は旅館奉公か何かなし居りたるものにて遺書に記せる弱き者とは淪落の果てを悲觀して自殺せしものならんと（釜山特電）

牛肉暴落す

地方農民中には旱魃のため飼料缺乏せるより牛馬を手放す者多く且つ資本家より借入れ飼養し來たれるものも急に返還を迫られるより牛の價格頓に下落し最近百圓と稱へたるもの今日にては其半價となり從つて牛肉も一斤五十五錢なりしもの昨今二十五錢を唱へつゝありと

新患者續發
虎疫益猛烈

其後國境に於ける虎疫は益々猛烈を極め居り其狀況左の如し

大同郡 二十九日大同郡平川里兵器製造所附近人家に於て昨二十八日鎭南浦より來れる鮮人男一名疑似コレラにて死亡

博川郡 廿七日疑似鮮人患者博川郡西面芹葛洞四嘉面三同面西山洞一德安面四六洞一博川邑內一發生內二名死亡す（二十九日著電）

泰川郡 同日泰川郡江東面若城洞一發生す（二十九日著電）

寧邊郡 同日疑似鮮人寧邊郡獨山面二延山面一發生內獨山面一死亡す（二十九日著電）

龍川郡 同日眞性鮮人龍川郡龍川面新鼎洞一龍岩面龍岩浦港船內一北中面[illegible]洞一發生內一死亡二十八日中城洞一府羅面南乘洞一[illegible]沖船內一西揚面[illegible]島一發生內四死亡す（二十九日著電）

新義州 二十七日新義州梅ケ枝町一若竹町一、二十八日梅ケ枝町五、眞砂町內地人一發生す（二十九日著電）

義州郡 二十八日疑似鮮人義州郡廣坪面將城洞一發生す（二十九日著電）

兼二浦 二十九日コレラ二十五日以來の發生後死亡四となる系統不明なり約十五日午前山東省より來る支那人に疑を置き調査中尙約三百戶交通遮斷し居れり患者の加檢物は警務局に送致せるも三菱病院にて細菌調査の結果コレラ菌を認む（二十九日著電）

全道虎疫患者

初發以來全道虎疫患者發生に就き警務局二十九日現在調査に依れば累計百五名にして內死亡四十四名眞正七名疑似四十六名也

個人衛生に注意せよ
傳染病增加す

霖雨續きで濕潤が甚だしいので衛生上には非常によくない小牟田本町署長は語る『天氣模樣がよくないので傳染病豫防上憂慮して居る虎疫も滿洲から南下して內地に迫つて居るし內地の方にも發生したので極力防疫には努めて居るが何日何時發生するか分らない京城は

公衆衛生 の點では充分注意して居るから遺憾はない此上は個人衛生だけである昨今の如き濕潤な天氣續きだと一府個人衛生の必要を痛切に考へる此際個人衛生に留意して欲しい』府廳の越川衛生主任は語る『虎疫も今の所では大丈夫らしいが天候が良くないので一般傳染病は幾分か增加の傾きがある

卅日現在 の順化院は二十六名の患者を收容してゐる其の內譯は赤痢一〇、腸チブス一三、猩紅熱一、發疹チブス一、コレラ一です本月中旬から患者が增加して來て現狀に及んだので例年に比して多い方ではないが天候が不良だから此際一層個人衛生に注意する事が肝要である』

千圓以上の貴金屬を詐取
朝鮮ホテルの客

自稱大分縣西國東郡西部甲村字岩屋番地不詳住所不定會社員藤原傑次（三七）は前科三犯の曲者なるが本月二十日東京外國語學校生徒須藤傑次と僞名し朝鮮ホテルに投宿中本町二丁目八十六番地木島時計店に金時計及び寶石を購入したき旨電話を掛け木島は三千圓餘の時計を持ち行き須藤に見せたるに須藤は其內千三百八十餘圓の品を取上げ二階の父及び妹に見せて來ると出て行きたる儘歸り來たらざるより不審を起しテッキリ持逃げと其筋に訴へ出でたり一方須藤は右の品物の中三十餘圓を入質して紺服及び大學帽を購め其の足にて新町君の江樓に大學生と詐はつて登樓し相敵娼を揚げて大散財中を柳橋、佐々村兩刑事に逮捕されたるが同人は以上の外尙內地各地を荒し三千圓許りを詐取せる旨自白せりと

五百圓詐取

全北沃溝郡米面新豐里七二三番地群山郵便局集配人高鳳欽（三二）は五月三十日同郡同里農高敬沃（四〇）の印を僞造し群山支廳に對し同人の所有に係る田畓總計一千百六十坪の所有權保存登記申請を爲し閣下附を受け八月三日榮町高橋與次郎に自分が高敬沃なりと詐稱し前記土地を擔保として金四百七十圓を詐取したる事判明し二十四日自宅潛伏中を逮捕されたり（全州）

各學校始業式

永い暑中休暇も愈々終り市內の各學校は一齊に九月一日始業式を擧行する筈

○鶴澤三造師南浦行　今春以來旭町に稽古場を開き居りし鶴澤三造は今回鎭南浦天狗連の招聘を受け近日中に當地を引揚ぐる由

○妙心寺の提唱　市內長沙洞妙心寺別院にては三十一日午前九時より碧巖錄提唱あり參聽隨意なりと

運動界

野球戰延期　卅一日擧行の筈なりし鮮銀新チームの初手合たる京城俱樂部との野球戰は七日（日曜）に延期されたりと

演藝

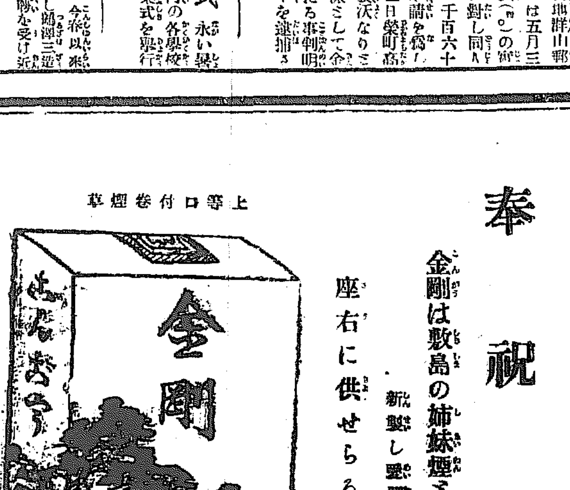
▲ドーグラスの飛行　二十九日から喜樂館で上演中の西洋劇『ドーグラスの飛行』及び舊劇『野狐三次』は共に好評、ドーグラスの飛行は名優ドーグラスが各場面に於て輕快な放れ業を演ずると云ふ冒險で滑稽で洒脫で頗る面白味に富んで居る輕くて肩の凝らない佳い寫眞である。▲野狐三次は舊劇としては最も新意を加へた跡が見ゆる。主要人物を擴大して表情、姿態を細かく寫し採光に注意を拂つてある點など眼に付く。筋も無理がなく舊劇に有り勝ちな馬鹿々々しい架空的な場面を挿んでないのが佳い

▲壽座　第七回目替藝題（三十一日）▲一番目『新蒲姬』八場▲二番目喜劇『意氣地』三場　重なる配役　廣目武（外山）南條伯爵（福井）夫（島村）鶴子（御谷）藤波仇吉（金子）藤波胡蝶（須田）廣見德壽（官志）藤波花吉（中井）植木屋重吉（小松）たゞん屋花七（岩田）丸谷中將（福谷）

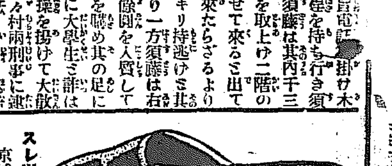
奉祝

營業科目
船舶出入貿易
各種御用達代辨及仲立
土木建築其他請負
鑛山并ニ各種事業ノ投資并ニ經營

京城府漢江通十一番地ノ四七一
森島洋行本店
長電話八一〇番
電略（モ）又ハ（モシ）



奉祝
金剛は敷島の姉妹煙として
新製し愛煙家の
座右に供せらるゝ
如何に品質の
優良なるかを……
御試喫あれ
東亞煙草株式會社



牛皮上等スレツパー……壹圓八拾錢也
皮製スレツパー……壹圓五拾錢也
朝鮮特產ワレグスレツパー…五拾五錢
重丹スレツパー……八拾五錢也
スレツパー製造元
京城明治町（電一八參三）
古賀喜商店

祝天長節
新町遊廓組合員一同

▲裁斷用形紙調製料改正
大日本森田式洋服裁斷敎授
森田番三郎

みだれ咲き

第百卅四回 島山碧波作 森田久畫

艶子が寸胸深く秘めて居る大希望を聽くと、今まで憤怒の形相物凄く相手を睨め付けて居た井口は、其の相貌も和ぐと共に片頬に微笑さへ浮かべた。

『艶さん、さうすると貴女はあの當時さんな心理狀態で山中の家へ嫁に行つたのです、今貴女の口にされた言葉は、浮川竹の流れに其の日を送る娼婦と同じやうな考へではありませんか、假りにも堂墨の瀰麻たる華族の家に生れた貴女が、そんな考へを以て居るとは少しも知らなかつた』

井口は萬怪に襲はれて淚に聲を曇らせた。

『荒んだ心になつた私は、華族の内に生れたからこそ、婦人を弄ぶ山中に買れたのでせう』と、投げ出すやうに云つて。

『あの時に私が無敵盲な勞働者の娘であつたら娼妓に賣られて居たでせう』

『ごうも貴女の云ふこごは總てが謎のやうだが、さうするこ貴女は父さんの犧牲になつたのですな』

『さうなんです、實はあの時に纒まつたお金を父の債權者に返さぬ時は由緒ある藤村家は華族の禮遇を停止されるやうな危險に迫つて居たのです』

『さうでしたか』

井口は再び天を仰いで長い嘆聲を洩らした。

『ですから私はあの當時より身體だけ山中家へいつて居ても心は死んで居たのです』

『さうですか、僕があの時に金さへ在つたら宜かつたのでしたね』

『もう何も仰しやつて下さいますな、私は暗い運命に弄ばれるために此の世に生れて來たのですから』

井口に伴ふに纏り付いた艶子は、稍暫くは涙に咽んで頭を上げることが出來無かつた。

『艶子さん、僕は今日まで貴女を怨んで居たが、其の怨みも殆ど晴れました』

夜目に確とは判らぬが、ごうやら井口、艶子夫人の纖細な手を握り締めたやうであつた。

『夫では貴郎は不幸な私に同情を寄せて下さいますか』

『大いに同情します、要するに僕に意氣地が無いから斯んなことになつたので、僕こしては僕自からを怨むより外は無い』

と、云つてまだ艶子夫人より手を放さぬ井口は。

『然し艶子さん、貴女は御自分の目的を達した曉はごうなさる量見です』

『…………』

艶子は井口の質問に對して言下に答辯が出來なかつた。

『ねえ艶子さん、嫁に行きながらも、自分の戀が破れた爲に良人の一家を呪ふ貴女は、御自分の目的を達した後には如何なる行動を執る量見です』

『實は……』

艶子はまたしても口籠つて返答が出來無かつた。

『ごうなさらうこ云ふのです』

『貴郎の許に走つて總てを打ち明け、私の犯した罪を許して下されば夫に越したことはありませんが萬一貴郎の怒りが解けずに私を怨んで居らつしやるやうなら、其の時には最後の手段を執らうこ思つて居ました』

『最後の手段こは』

『死の一字です、死を以て何事も忘れてしまふ心算でした』

『おう……』

井口は艶子の告白を聽くこ、またしても沈默の人こなつてしまつた、さうして其の沈默から覺めた彼れは。

『艶子さん、僕も今では自暴自棄に陷つて天下の法を犯して居るんですが、貴女がさう云ふ量見なら、僕のためには讎仇であるの山中一家を破亡させる參謀に[illegible]までう』

井口の双眼は怪しく光つて艶子の返答に固唾を呑んだ。

今咲く花こ今植ゑる草

今月から來月へかけて見る花は カンナ、ダリヤ、松葉牡丹、バーベナ。ゲールラヂヤ、マリゴールド、ジニヤ、萩、桔梗、女郎花、紫苑、藤袴等で、カンナやダリヤの花は土用中よりも

よい花をつけますそれから今植込んで來春花を咲かせるものはフリージヤ、クロツカス、ナーシスサス、オキザリス、アマリース、ヒヤシンス、チユリツプ、アネモネ等でこれは成るべく九月がよいのです、このうちクロツカスこヒヤシンスこは

無肥料の水栽培でよく アマリースは球根を上三分位出して植てもよい、スリージヤは肥料を好みますから生長するに從つて水肥をおやりなさい

京城本町二丁目 野田時計舗 電話八七四番

薩摩芋の功能 脚氣の豫防

近頃混食が大分流行して居ますが混食の中で薩摩芋を米飯又は麥飯粟飯に混ぜて食る時には脚氣に罹らぬこいふことです、昔から薩摩芋を常食こして居る所の脚氣には罹らぬこいふ話はありました、某氏の實驗によると米、麥等の混食で十分に脚氣を豫防するこごが出來ますさ

唐茄子こ南瓜 同一に非らず

南瓜は正く云ふこボウブラでタウナスではありませんカボチャといふのはカンボチヤから渡つて來たからさういふので國によつてボウブラこもボブラこもナンキンこも云ひますそれから後にタウナスが渡つて來たのでこの形は茄子の形に似、中部くびれて[illegible]遂てタウナスこいふのは皆ボウブラでタウナスではありませんこ（牧野富太郎氏談）

莫大小問題

[illegible]發表し輸入は自由となりたるこ[illegible]輸入[illegible]はレスター、ノッチし同年十二月一時解禁し更に[illegible]輸入業者は其解禁を迫り[illegible]之れに呼應し外務省を[illegible]は畢竟製造者側の利益を代表す[illegible]六月六日[illegible]を超過し英本國保稅倉庫中[illegible]大小は現物を許可し[illegible]

剣花坊先生歡迎 川柳會席上吟

八月廿七日梅の家に於て

天 五丈原
山ひこつ向ふの林は雨に泣き
地 弓八郎
春雨に二人は惜い紺蛇の目
人 早太
蝦蟇濁なす雨に腰を据ゑ
五客 柳建寺
東西もなく傾城薬雨が降り 五丈原
一年のいのちを繋ぐ雨が降り 閑寛坊
雨親は小供の傘になり 早太
雨の中玩具の傘が飛んで行 億太
豫報見てから雨乞ひを思ひ立ち 弓八郎
前抜
馬鹿がまた腰掘直す鄕の雨 柳建寺
二色の尻ッ尾を出す最合傘 弓八郎
俄雨赤い蹴出を見せられる

我等の俳句

○ 芹郎
殘暑いさしく羊に手をあて・女の年齢である
白菜を蒔き終つて早朝の手をかはす
白菜を蒔く一途に蒔き恥らうなし
ものに觸るゝなく秋の濁り泳ぎし
○ 眞敏
すげなく女二三人松葉牡丹みなせんげり
川舟岸をはなれ册子の呼んだ線燒
○ 島堂
天の川の下の藤椅子に一杯の見
バッタの跳脚が優にバッタを支へる
照降草の黃のほびこりなやみなし
八、八、二五

日報俳壇

□短夜吟 狸骨
船造る手斧はじめせし青あらし
藍魚な水道にうたす青あらし
枠に井戸の底遠き星に蓋か閉づ
底井戸に鏡おろしあり飛ぶ螢
□ 池山石
井替蝿研に蝕ひ入り月に
羽蟻空夕擲けて向灯さず
月の出草破れ閑房に暑きにけり
花葵朝日照れる茂香澄む
□ 楠青
吹き通しに魚形りあり蝉の聲
井替人夕頃の月に泥衣脱ぐ
米買人午まで話す梅青し
海風きな服衣に湖す姿かな
□ 至浪多
雨寄れの青海、蝦蛄掘り漁る
杉の月井替衣乾せろ見ゆ
□ 瓜青
杉さ伸び竹あり井戸替ゆる
井替空瓶頭のやうに澄み居りぬ
龍反古に朝の日さゝる梅青し
青梅に康記録小口盤へり
朝蝉の井底振り足らぬ釣瓶かな

新刊紹介

▲呼子鳥（長田幹彦作） 著者得意の流麗にして温情ある筆を以て呼子鳥の一篇をなす、波瀾あり、曲折あり、全篇百九十四章七百十八頁、讀む者をして巻を措く能はざらしむ、近來の佳作なり（一圓八十錢、東京芝公園玄文社）

▲絵日傘（長田幹彦著） 裝禎優美なり『舞扇』外九篇の新作短篇小説を收む著者獨特の艶麗暢達なる筆にて各篇各様の妙趣異彩を發揮したる面白き讀物なり（一圓三十錢、東京芝公園玄文社）

▲我等（八月號） 如是閑の死刑、長谷川萬次郎の個人的優越の否定、大山郁夫の社會改造の根本精神其他時事評論 傾向及批判、文藝等趣味ある記事多し（三十錢、東京神田鎌倉町我等社）

▲美人の戶籍調（横山流星著） 現代の婦人傳なり中に名流夫人さして有名なる人又は隠れたる時人さも稱すべき女傑或は女優等乾然一幅の婦人共進會なり或は被國貞節の人人あり學者あり文人あり教育家あり藝術家あり或る淪落の女等興味ある紙に六十餘名の婦人を描きたるものなり（六十五錢、東京下谷花園町一天下堂）

▲日本魂（四の九） 大隈中將研究（山脇博士外六氏）及び名家の時代評論及び吉田忠左衛門（繪圖）其他趣味の讀み物も多し（二十錢、東京々橋區櫻橋町南傳共社）

▲婦人界（九月號） 慶大教授田中博士の『主婦はいかにして生活難さ闘ふべきか』高島米峰氏の坪内士行氏、床次內相の罪貸な非難さした『再婚可否論』大石 橋病院長の『看護婦より見た不姙の婦人』この外主婦に必要なる記事多し（東京市京橋區疊町一東京堂）

▲復習こ受驗（九月號） 讀方、綴方、算術、歴史、地理、理科等の各講座及び入學試驗問題の解答等有益文字多し（定價廿錢東京牛込矢來町四南光社）

▲家庭顧問（九月號） 北總の研究化粧するまでの手入法、家庭問答其他主婦に必要なる記事多し（三十錢東京麹町區上六番町化粧調査會）

▲新家庭（九月號） 口繪は例の如く艶麗にして豐富なり寫眞欄には本誌獨特の細方にして代表的名流美人な數十葉掲載しあり本文には長幹田彦氏こ田山花袋氏の二大小説の外に田中貢太郎氏の情話其他越味のある記事多く秋の長夜の讀物こしては實に賑々しく編輯されたり（定價一部四十五錢東京芝公園九玄文社）

投書の領分

▲吾人は京城の菓子業者及び其使用する製造者に衛生思想を道德觀念こが吹き込む必要が大いに有るこ思ふ店頭に並べた菓子に關するが一度其製造する處を見て見たら恐らく誰もそれを舌鼓打つて食しやうさは思ふまい汚い器に盛られた手で捏ねた、汗だ、實に自分は其製造する樣を瞥見して途に菓子類を食べようこは思はなくなつた賣る者は其價を要求するものを賣る者に對して販賣物の根本的清潔を要求する權利が有るこ思ふ、それでなければ社會の人の頭をなめて居なければならない要するに衛生思想こ道德觀念の背反させるのは當局者の責任ではあるまいか（京住者）▲蓮池洞小棒私は二年半ばかり[illegible]れまでは二日にあげず[illegible]たが種々考へました結果安眠するこごが一番だこ思ひましたのでこれに勝つた方法な研究して實驗して來ました倘は詳細に下記へ御手紙でも頂けば御返事致します（龍山元町一龍山方[illegible]生）▲忠南生へ、御質問の理由尤もさ思ふ[illegible]他た傷くる事なれば也但し我紙の報道は常に正確ならんこごを期す之を諒せよ（[illegible]生）▲京城庚子記念[illegible]稱洞の先生でした京日先生に申上ます京城には凡な甚た人がたくさん居るだらうこ思ひますが一度皆集つて昔を偲びましたら面白いでせうこ思ひますが如何でせう（[illegible]兒）▲『三人の父』子へ告ぐ百日咳には[illegible]三人に一人位の割合で効くさうです竹の油は最も効果があります之を採るには青竹の新しきを取二つに割り之を內側を下に向けて炭火にて氣永に熱するさきは兩端より僅かばかりの油が滴り落ちます之を集めて年に應じて適宜そのまゝ或は蜂蜜湯等に滴して服用させるこ遲きは一日位で効果が現はれます（實驗生）▲藥局官舍の○號の細君は洗濯水の不潔なのを慮はず撒き散らすので近所の人は每日不快の感にうたれて居るこさ何日も下水にたまりそれに[illegible]

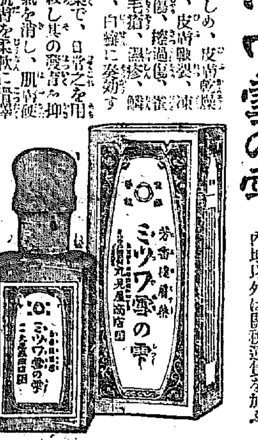
肌膚を柔軟にし色艶を麗しくする芳香健膚藥

○ミツワ雪の雫

定價 金四拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

主効 皮膚を強壯清潔ならしめ、皮膚乾燥、皮膚龜裂、皮膚剝裂、皮膚破裂、凍傷、火傷、乳嘴の小傷、擦過傷、雀斑、脂漏、痤瘡、毛瘡、濕疹、贅疣、膚疹、粃糠疹、苔蘚、白癬に奏効す

本劑は芳香馥郁たる健膚藥で、日常之を用ふれば肌膚に居る黴菌を殺し其の發育を抑へ、隨つて腐敗を防ぎ臭氣を消し、肌膚硬くなつたのを溶かして▲肌膚を柔軟に滑澤になし、肌膚から出る脂肪を除いて清潔になし、肌膚を緊縮して緻密になし即ち肌理を細かにし、肌膚の血行を良くして其の色澤を麗しくし、皮脂や汗の餘分に出るのを制限し肌膚を包み擁つて外から來る刺戟を緩げ▲肌膚の乾燥を治し、龜裂などを防ぎ、黴菌や毒物の入込むのを止め、尚肌膚の營養を旺盛にして健全な肌膚の新しく出來ることを促すから前に舉げてある諸種の皮膚病に良く效き肌膚を健强こ清潔にするのであります。又▲白粉を塗る前に肌膚をミツワ石鹸で洗つてから之を擦り込むやうに塗り暫く經つてから湯水で堅く搾つた手拭ひで抑へるやうに輕く拭取りそれから白粉を塗るこのりものびもよく生々こした化粧が出來る肌膚になります



（現品縮寫圖）

芳香馥郁たる肌着香水オー・ド・フラール

○ミツワ花の雫

定價 金四拾五錢 大壜 金七拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

從來の家庭用香水には徒らに强烈なる香を放ち、手巾、衣服等に振掛くれば汚點を殘すもの多きに反し、ミツワ花の雫は人を魅するが如き床しき温雅の芳香を有し、些も汚點を殘す憂ひなく肌着、手巾、寢具の敷布等に振掛け、洗面盤浴槽等に用ふれば、清涼の感を得ること本品に優るものなく、各家庭に常備すべき優良なる家庭用肌著香水なり

（現品縮寫圖）

毛髪の營養料衛生香水ヘーヤ・ローション

○ミツワ月の雫

定價 小壜 金五拾錢 大壜 金八拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

優良なる品質を具備し、毛髪の衛生に適するミツワ洗粉を以て毛髪を洗滌せる後此ミツワ月の雫を用ふれば、爽快の感を得、毛髪の發育を助け、毫も之を傷害ふことなく、色澤を艶美ならしめ、脫け毛及び雲脂の過度を防ぎ、榮養を良くするに特效ある美髪料なり。故に毛髪の衛生に留意し、美髪を欲するものには、實に理想的の榮養料頭髪用香水なり

（現品縮寫圖）

贅澤で經濟で而して最も優良なハンカチーフ用

○三百番香水

定價 各種一均 小壜入…金五拾錢 中壜入…金壹圓五拾錢 大壜入…金貳圓五拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

種類
ヴァ井オレット すみれ
ローズ ばら
リリー ゆり
ムゲット 花の名
ミモサ 花の名
ブーケー 花たば

三百番香水は優雅な香で、長い時間香を保つもので、香は人によつて嗜好を異にして居るから、六種の香を異にするものを發製して、更に追々種類を殖やさうと云ふ計畫である。香水は折角高價を拂つて求めても、其香が嗜好に合はない場合が多い。三百番香水は一瓶に小瓶の見本を添へてあるので、お嗜好に合ふものが選べる便利がある。一體普通香水は容器の體裁を飾る爲に餘計に高價な物になる弊があるが、三百番香水は正味のみを目的こして居るので、自然價格も無類の低廉なるものになつてゐる

○ミツワ石鹸の種類

ミツワ石鹸は單に化學上の純正なる石鹸たるのみならず、化粧用洗滌用こして其目的に適合するこごは旣に道識なる江湖諸彥の容認さるゝ所である、ミツワ各種石鹸の販額日に增進し、本邦最大の生産額を有し、ミツワ石鹸こ云へば恰も石鹸の代名詞たるが如き觀あるは、偶然の事實に非ずして、其品質の優良價格の低廉、殊に本邦人の皮膚毛髪の洗滌に、最も適當せる特徴を有して、石鹸使用の目的を、完全に遂し得らるるからである、尙其品質の改善に常に留意し、益々優良なる製品を提供するこごに誠意努力するは、本店の主義こしてゐる所である、從來ミツワ各種石鹸御愛顧諸彥、願くば本店微意の存する所を諒察せられ、一層の御用命を希ふものである。

○ミツワ石鹸

大形 家庭用一個定價金貳拾五錢
中形 中形一個定價金拾八錢
小形 旅行用一個定價金拾貳錢
極小形 旅館用一個定價金六錢

化粧用石鹸こして本邦人の皮膚毛髪に理想的の石鹸にして、毫も刺戟を感ずる處なく、細かき泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し、浴室に用ひて半途に溶け崩れる憂なきもの、即ち一般家庭に於ける浴室用化粧用こして、衞生に適し經濟に合する理想的實用品である。

○特製ミツワ石鹸（赤箱）

定價一個金四十錢 半打金二圓二十錢 一打金二圓四十錢

ミツワ石鹸こ品質毫も異るこごなき優良品にして、特に溫雅の芳香を加味せるものである、赤箱の包裝を用ゆる故に、普通ミツワ赤箱こ稱せられ、其佳香は極めて愛すべきもので、推賞されてゐる家庭用石鹸である。

○煉製ミツワ芳香石鹸

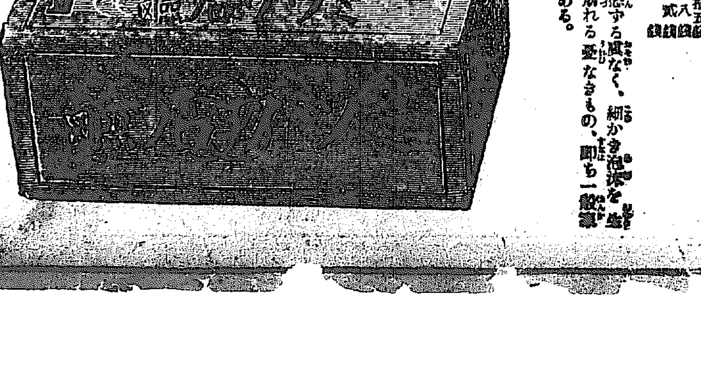
定價 三百番金三十錢 二百番金二十五錢 百番金貳[illegible]

品質純良なるミツワ石鹸を基礎こして、特殊の芳香料を加味せる芳香石鹸である、煉製品の故を以て、溶解頗る容易であるから、化粧臺用こして其使途に適し、芳氣頗る揚烈にして馥郁、化粧用こして最も理想的の煉製芳香石鹸である。

○ミツワ洗濯石鹸

定價 金八錢 大形 金十五錢

從來の洗濯石鹸の多くは粗製品にして、或は地質を傷め、或は除垢力薄弱にして、實用經濟に適しないのである、絹布を洗ひ綿布毛織物を濯いで、能く汚垢を落し地質を傷めざる理想的洗濯石鹸は、此ミツワ洗濯石鹸以外には無く、洗濯石鹸中是に優るものは無いのである。



ミツワ家庭藥
ミツワ人參葡萄酒
ミツワ規那鐵葡萄酒
肝油ドロップス
御園化粧品

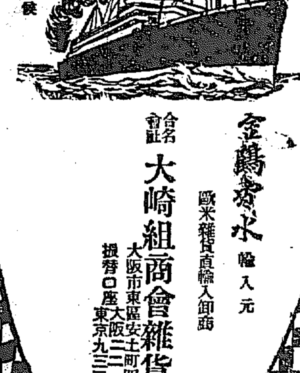
發賣元 ○ 登錄商標 東京市日本橋區橘町四丁目 藥劑、賣藥品、石鹸、香粧品、小間物問屋 丸見屋商店

振替貯金口座 東京七一〇番 電話 [illegible]

冬物荷揃

帽子類 メリヤス類 靴下類 手袋 毛織物 毛布類 羽根布團 其他雜貨 舶來化粧品

型錄御申越次第進呈 小賣は一切不仕候



金鶴香水 輸入元

歐米雜貨直輸入卸商

合名會社 大崎組商會雜貨部

大阪市東區安土町四丁目 振替口座 大阪二二九番 東京九三三九番